

MASPRO

ネットワークカメラ

取扱説明書

NETWORK CAMERA

TS5-B5Z6AP、TS5-B2Z6AP

バレット型(光学ズーム)

AI機能搭載



TS5-B5Z6AP、TS5-B2Z6AP

目次

はじめに

特長	3
ご使用になる前に	4
取扱説明書の作成環境	4
使用環境	4
商標について	4
外観図	5
各部の名称	6

接続・初期設定

ネットワークに接続する	8
カメラの映像を見る	9
ユーザー名とパスワードを変更する	11

映像を見る

カメラ映像画面	12
サイドメニュー	13
ユーザーアカウント制御設定方法 (Windowsの設定)	14

設定する

AI検知設定画面	15	A/V設定	40
設定画面	19	映像設定	40
設定メニュー 一覧	19	ビデオ設定	42
システム	20	オーディオ設定	44
システム情報	20	イベント	44
ユーザー管理	23	イベント設定	44
システムアップデート	25	スケジュール	47
ネットワーク	28	I/O設定	49
IP設定	28	ログリスト	50
アドバンスド設定	32	SDカード	51
PPPoE/DDNS設定	36		
サーバー設定	37		

スマートフォンで映像を見る

スマートフォンの設定をする	54
表示内容と操作方法 (iPhone)	56
表示内容と操作方法 (Android)	57

必要なとき

お買上げ時 (工場出荷時) の状態に戻す	58
規格表	59

●高画質の撮影に対応(5MP/2MP))

TS5-B5Z6AP(有効画素数が約500万画素)、TS5-B2Z6AP(有効画素数が約200万画素)のカメラですから、高画質の映像を撮影することができます。

●光学ズームに対応

6倍の光学ズームカメラを搭載していますから、離れた場所の画像を高画質で撮影することができます。

●電動フォーカスレンズを搭載

カメラ映像画面の[AF]ボタンをクリックするだけでピントを合わせることができます。

●デジタルワイドダイナミックレンジに対応

撮影映像のコントラストを下げ、露出オーバーおよび露出不足で生じる暗いゾーンを回避することができます。

●夜間撮影に対応

赤外線LEDを搭載していますから、夜間でも70m離れた場所まで撮影することができます。

●AI検知に対応

人や車両を検知した場合に録画を開始したり、Emailを送信したりすることができます。

●モーション検知に対応

撮影画像に動きがあった場合に録画を開始したり、Emailを送信したりすることができます。

●いたずら検知に対応

カメラの向きを変えられたり、覆われたり、強い光が当たったり、焦点が合っていない場合に、録画を開始したり、スナップショットをEmailで送信したりすることができます。

●防じん・防水(IP66)に対応

屋外にも対応できます。(完全防水ではありませんから、軒下などの直接雨がかからない場所をお勧めします)

●microSDカードスロットを搭載

カメラの映像をmicroSDカードに録画することができます。

取扱説明書の作成環境(2025年6月現在)

OS	Windows10
ブラウザ	Microsoft Edge(IEモード)

使用環境(2025年6月現在)

本機の設定・接続に使用するパソコンには、以下の使用環境が必要です。

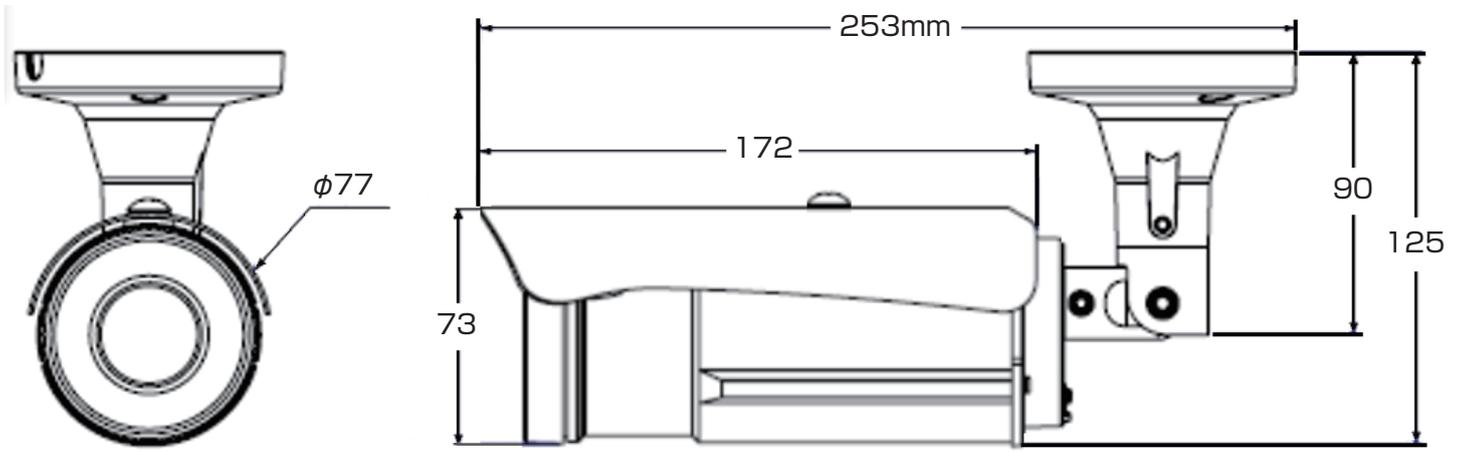
OS	Windows10、Windows11
ブラウザ	Microsoft Edge(IEモード) ●[互換表示でこのページを開く]をOFFにしてください。

スマートフォンの対応OSには、以下の使用環境が必要です。

iPhone	iOS 9.0以降
ブラウザ	Android 5.0以降

商標について

- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GoogleおよびGoogleロゴ、Android™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。   
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



壁面・天井取付部

- 付属のねじを使用して壁面や天井に取付けます。
- 壁面への設置方法は、別紙「設置説明書」をご覧ください。

赤外線LED

夜間撮影時に点灯します。

カメラ部

映像を撮影します。

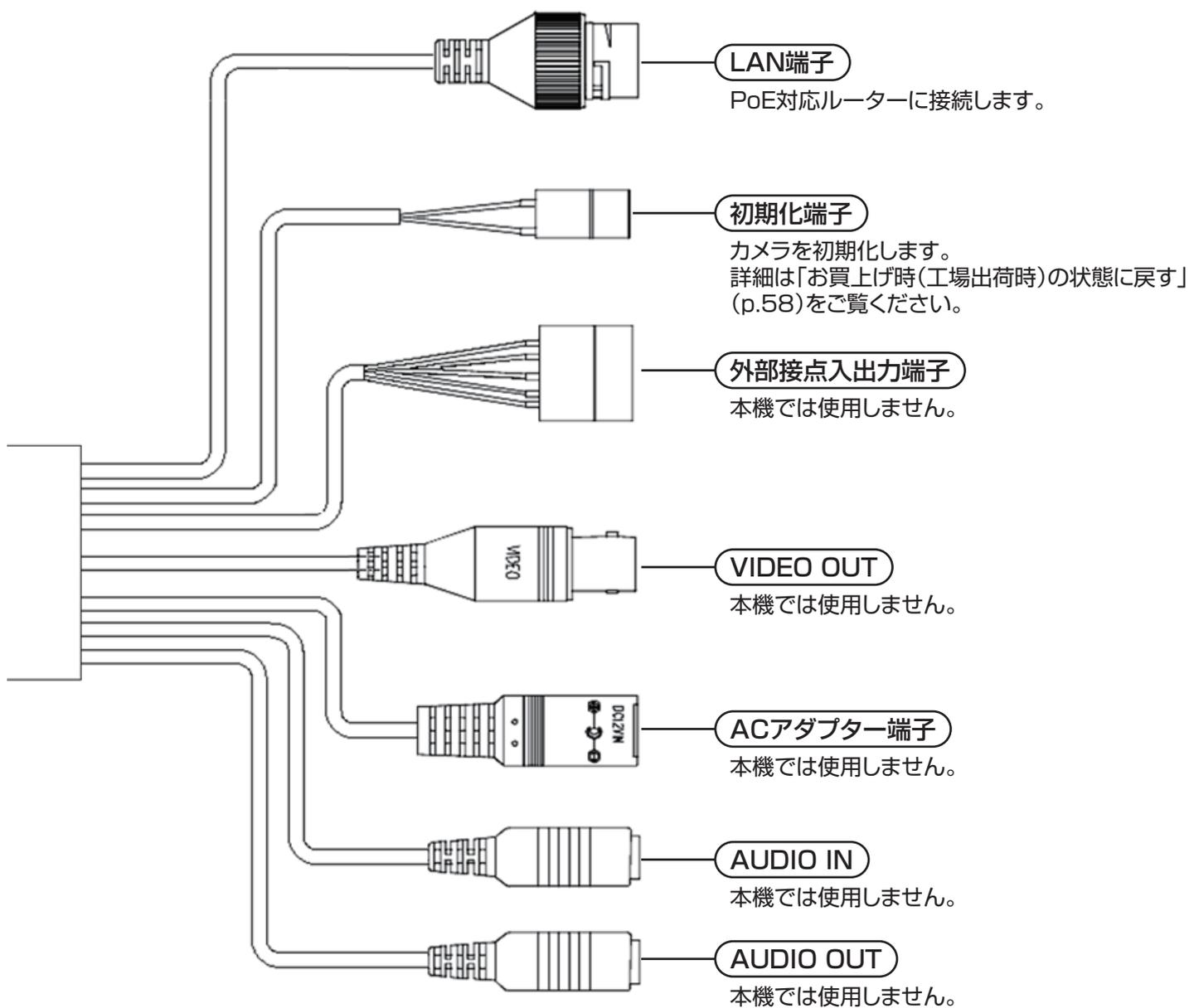
明るさセンサー

周囲の明るさにより、自動で赤外線LEDを点灯させるセンサーです。

microSDカード挿入口

- 映像を録画する場合、市販のmicroSDカードを挿入します。
- 詳細は「設置説明書」をご覧ください。

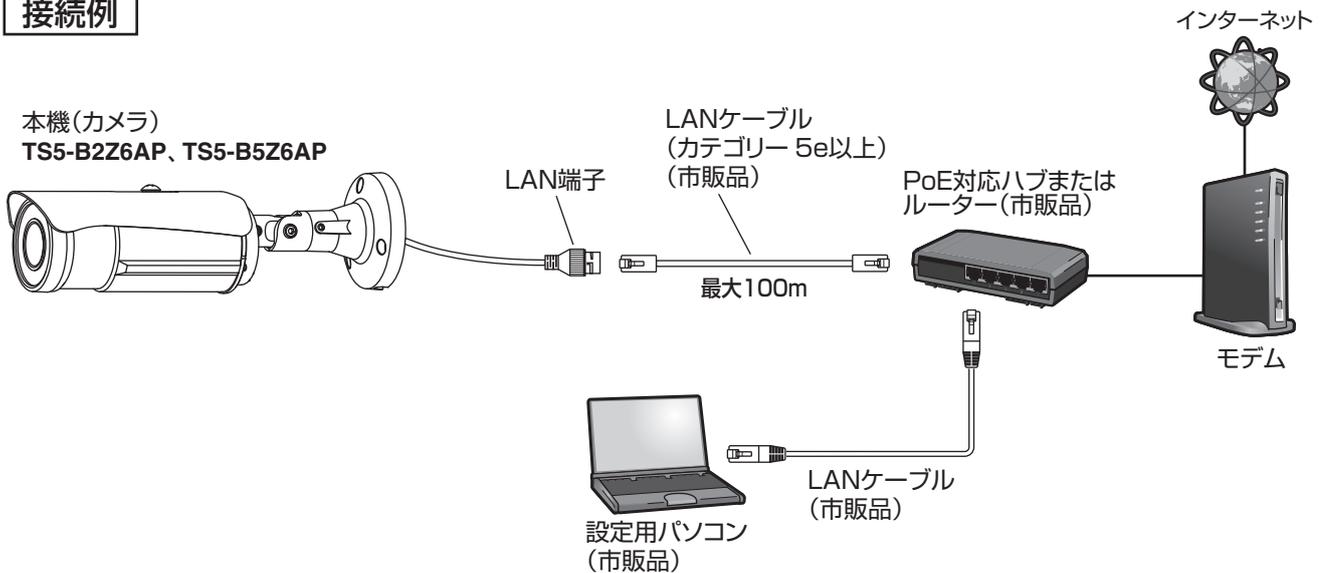
ケーブル部



PoE対応ルーターを使用する場合

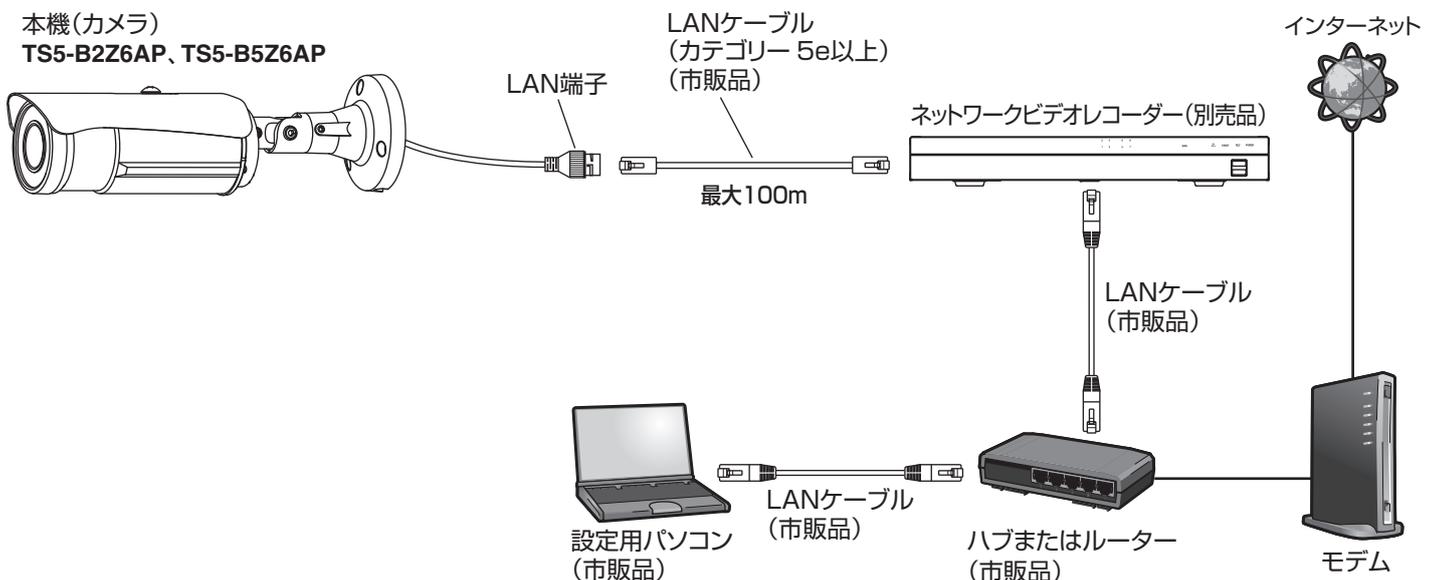
- ① モデム、PoE対応ハブまたはPoE対応ルーター、および設定用パソコンなどの電源を切ります。
- ② 各機器を接続します。
 1. 設定用パソコンとモデム、PoE対応ハブまたはPoE対応ルーターが同一のルーターに接続されていることを確認します。
(設定用パソコンとルーターを無線で接続している(インターネット接続がされている)場合、LANケーブルでの接続は必要ありません。)
 2. モデム、PoE対応ハブまたはPoE対応ルーターの電源を入れます。
●各機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書をご確認ください。
 3. 本機のケーブル部のLAN端子に、LANケーブル(カテゴリ 5e以上)を接続します。
 4. PoE対応ハブまたはPoE対応ルーターに、LANケーブルを接続します。
- ③ 設定用パソコンまたはモニターの電源を入れます。

接続例



ネットワークビデオレコーダーを使用する場合

接続例



① ホームページから、ソフトウェア「IP Installer.exe」をダウンロードします。

<https://www.maspro.co.jp/link/support/ts5/ip-installer.html>

② 「IP Installer.exe」をダブルクリックして、機器検索・アドレス設定画面を表示します。

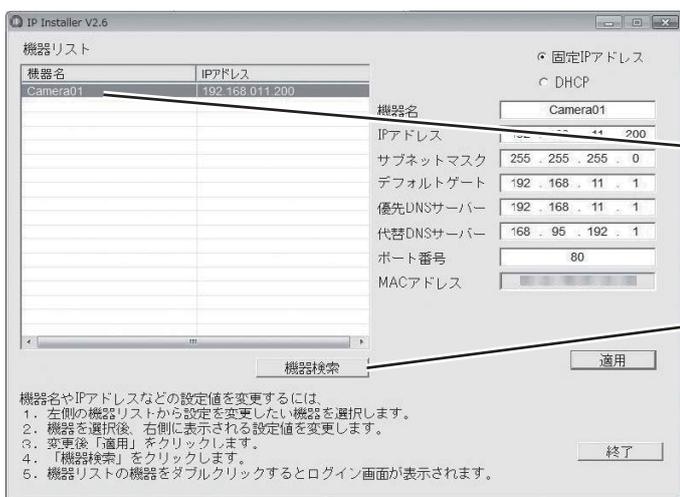
- Windows セキュリティ警告画面が表示される場合は、監視環境に応じてネットワークの種類を選択し、[アクセスを許可する]をクリックしてください。
- Windowsの設定から「ファイアウォールとネットワーク保護」の「ファイアウォールによるアプリケーションの許可」画面で ip_installer.exe を許可の設定をすることで、セキュリティ警告画面は表示されなくなります。

③ 「機器検索」をクリックして、機器リストに接続しているカメラを表示します。

- 同一ネットワーク内にカメラがあるにも関わらず、機器リストにカメラが表示されない場合は、IP Installerを終了して、再度、「IP Installer.exe」をダブルクリックして試してください。

④ 機器リストに表示されたカメラをダブルクリックして、ブラウザを起動します。

- 固定IPアドレスを使用する場合は「固定IPアドレス」を選択し、アドレスを入力後に「適用」をクリックしてください。

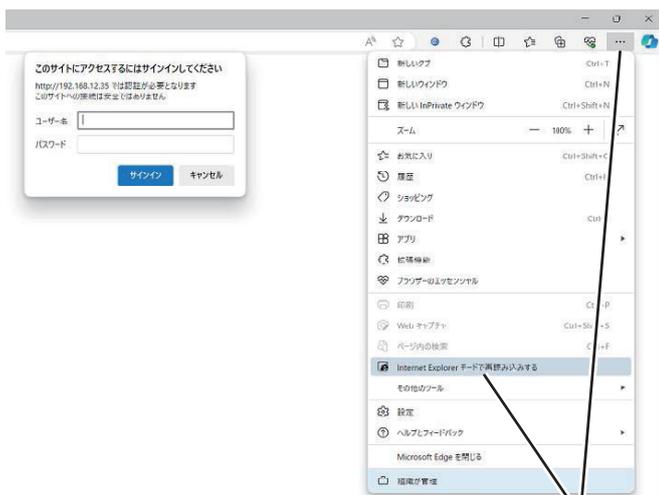


機器検索・アドレス設定画面



セキュリティ警告画面

⑤ 右上の「…」をクリックして、リストから「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックします。



ブラウザ画面

⑤ クリック

「Internet Explorer モードで再読み込みする」が表示されない場合

1. 「設定」をクリックして、「既定のブラウザ」を選択します。
 2. 「Internet Explorer の互換性」で「Internet Explorer モード (IEモード) でサイトの再読み込みを許可」の設定を「許可」に変更して、「再起動」をクリックします。
- 設定を変更することで表示されるようになります。



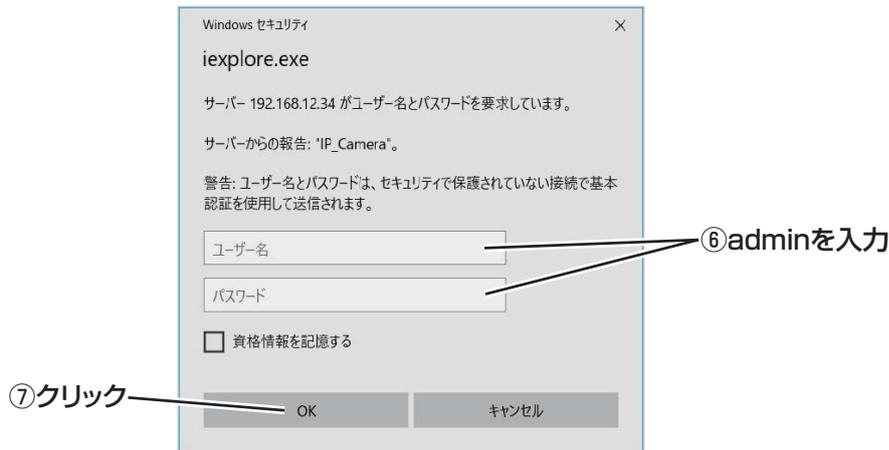
- 「アドオンの実行」ポップアップが表示された場合、「許可」をクリックしてください。



クリック

⑥ログイン画面に、ユーザー名「admin」とパスワード「admin」を入力します。(デフォルト：admin)

⑦「OK」をクリックすると、カメラ映像画面が表示されます。



ログイン画面

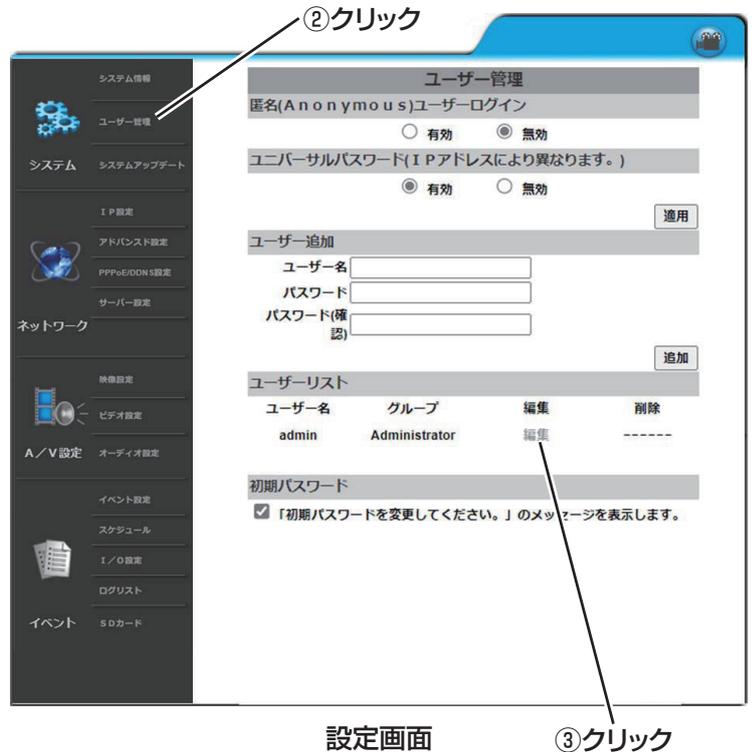


カメラ映像画面

本機(カメラ)のユーザー名とパスワードを変更します。

ご注意 本機の初期設定は、ユーザー名:admin、パスワード:adminです。「初期パスワードを変更してください。」と画面に表示されますから、セキュリティのため、ユーザー名とパスワードを変更してください。

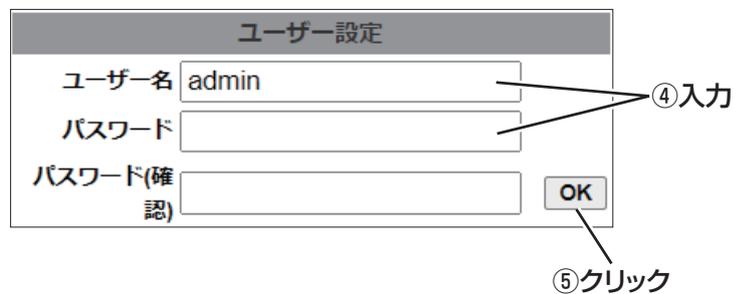
- ①カメラ映像画面(p.10)の  アイコンをクリックします。
 - 設定画面が表示されます。
- ②「ユーザー管理」をクリックします。
 - ユーザー管理の設定画面が表示されます。
- ③ユーザーリストの「編集」をクリックします。
 - ユーザー設定を変更する画面が表示されます。



設定画面

③クリック

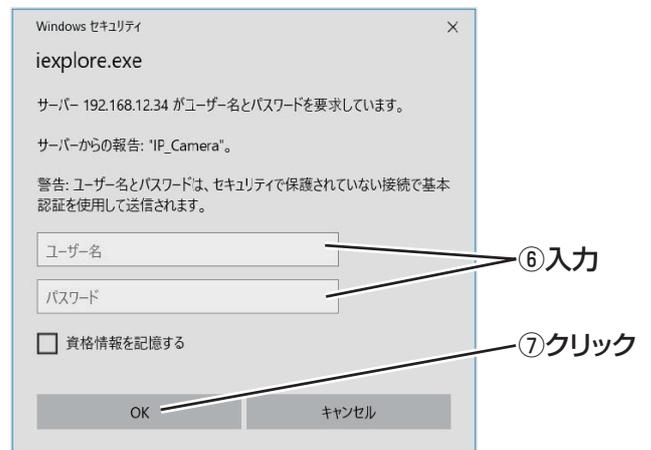
- ④新しいユーザー名とパスワードを設定します。
 - 設定したユーザー名とパスワードは、忘れた場合、初期化が必要となるため、メモすることをお勧めします。
- ⑤「OK」をクリックすると、設定が保存されます。
 - ログイン画面が表示されます。



⑤クリック

- ⑥ログイン画面に、変更したユーザー名「***」とパスワード「***」を入力します。
- ⑦「OK」をクリックして、カメラ映像画面を表示します。
 - カメラ映像画面の「初期パスワードを変更してください。」メッセージが表示されなくなります。

パスワードは大文字、小文字、数字を合わせた8文字以上で設定することをお勧めします。英数字で最大31文字まで設定できます。



ログイン画面

本機(カメラ)で撮影した映像を表示します。

カメラ映像画面



- ① アイコンをクリックすると、カメラ映像画面を表示します。
- ② アイコンをクリックすると、AI検知設定画面(p.15)を表示します。
- ③ アイコンをクリックすると、カメラの設定画面(p.19)を表示します。
- ④ 現在の日時、映像サイズ、その他の情報を表示します。
- ⑤ 本機に接続しているスマートフォンやパソコンの台数を表示します。
●最大11台まで接続できます。(NVRに接続されている場合は2台として計算します)
- ⑥ アイコンをクリックすると、AI検知時にイベントを表示する画面にします。
AI検知すると、年月日、日時、AI検知種類、検知対象などのイベント情報が表示されます。
- ⑦ アイコンをクリックすると、サイドメニュー(p.13)を表示します。

サイドメニュー

カメラ映像画面で  アイコンをクリックすると、サイドメニューを表示します。

ストリーミング

カメラ映像画面に表示するストリームを選択します。

ショートカット

 (スナップショット*)アイコンをクリックするとスナップショットのプレビュー画面が表示されます。

-  アイコンをクリックすると、保存先フォルダーを指定して、パソコンに静止画像(JPEG形式)を保存します。
-  アイコンをクリックすると、スナップショットを破棄します。

 (録画開始*)アイコンをクリックして、保存先を指定し「フォルダーの選択」をクリックすると、録画を開始します。

- カメラ映像画面にRECと表示されます。
- 録画を停止する場合は、 (録画停止)アイコンをクリックします。

 (デジタルズーム)アイコンをクリックすると、画面を拡大する操作画面が表示されます。

- 「ズームバー」を操作して拡大表示します。青色の枠をクリックアンドドラッグで移動して拡大表示する範囲を変更します。



 (全画面表示)アイコンをクリックすると、カメラ映像を全画面表示します。

- 左ダブルクリックで元の画面に戻ります。

 アイコンは、本機では使用しません。

音声

本機では使用しません。

ズーム操作

  アイコンをクリックして、ズームイン/ズームアウトを調整します。

  アイコンをクリックして、手動でフォーカスを調整します。

 アイコンをクリックすると、ズーム設定状態を維持してフォーカスを自動調整します。

 アイコンをクリックすると、ズーム無しの状態に自動調整します。

ご注意 AIの検知エリアが設定されている場合は、再設定が必要です。

AIエリア表示

カメラ映像画面に、選択した番号のAIエリアを表示します。

※スナップショット、録画開始を使用する場合、Windowsで、ユーザーアカウント制御設定を変更してください。
「ユーザーアカウント制御設定方法 (Windowsの設定)」(p.14)参照

ユーザーアカウント制御設定方法 (Windowsの設定)

- ①「コントロールパネル」から「システムとセキュリティ」を選択して、「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックし、「コンピューターに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択」画面を表示します。



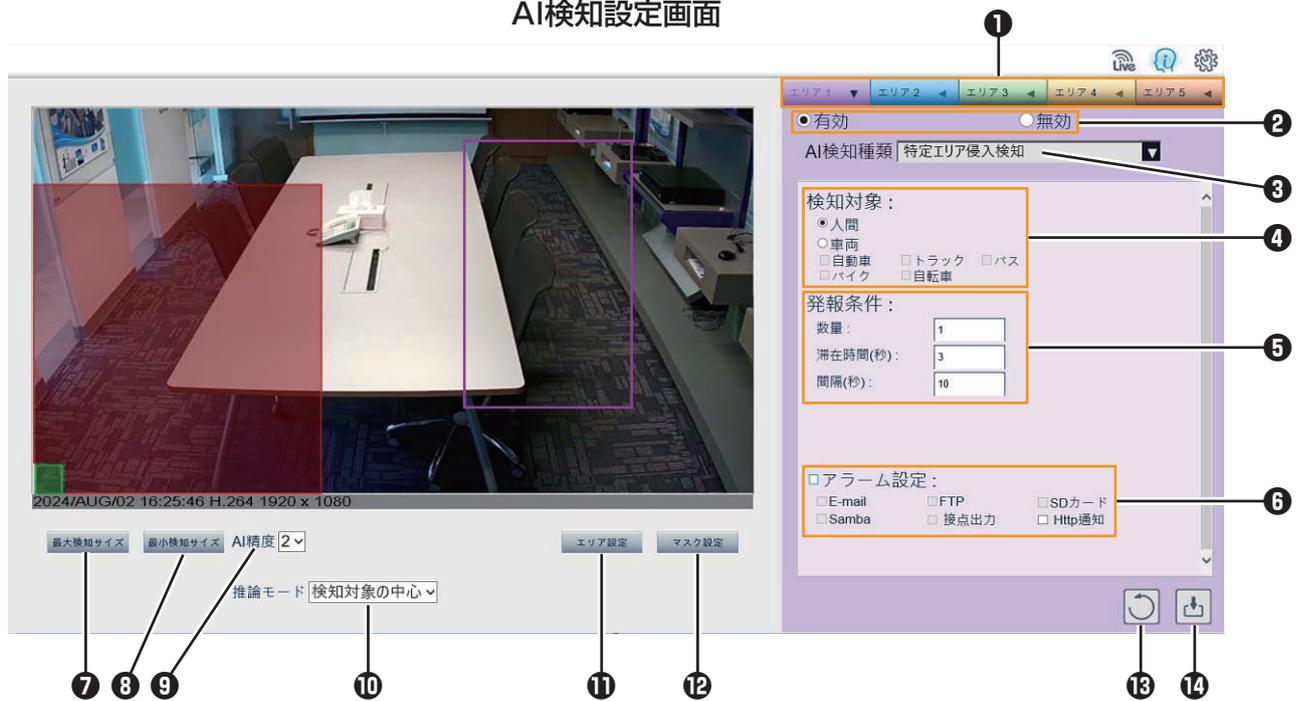
クリック

- ②「コンピューターに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択」画面で「通知しない」側に1つ下げます。



- ③「OK」をクリックして設定を完了します。

AI検知設定画面

**① AI検知エリア**

エリア1～5を選択します。各エリアごとに、AI検知種類を設定することができます。

② 有効/無効

AI検知機能を使用する場合は「有効」を選択します。

③ AI検知種類

AI検知の種類を選択します。

特定エリア侵入検知(p.16): 被写体の特定エリア侵入を検知する場合に選択します。

行列検知(p.16) : 被写体の行列を検知する場合に選択します。

集まり検知(p.16) : 被写体の集まりを検知する場合に選択します。(検知対象: 人間ののみ)

侵入検知(p.17) : 被写体の侵入を検知する場合に選択します。(発報条件: 間隔のみ)

滞留検知(p.17) : 被写体の滞在時間で検知する場合に選択します。

(検知対象: 人間ののみ、発報条件: 滞在時間、間隔)

リンククロス検知(p.17) : 被写体が検出ラインを跨ぐことで検知する場合に選択します。

(発報条件: 間隔、検出ラインA->B、A<-Bを選択します)

④ 検知対象

人間または車両(自動車、トラック、バス、バイク、自転車)から選択します。

⑤ 発報条件

数量、滞在時間、間隔、検出ラインを設定します。(AI検知の種類で選択項目が変わります)

⑥ アラーム設定

E-mail、FTP、SDカード、Sambaから選択します。(接点出力、Http通知: 本機では使用しません)

⑦ 最大検知サイズ

被写体の最大検知サイズを赤色の枠で設定します。

⑧ 最小検知サイズ

被写体の最小検知サイズを緑色の枠で設定します。

⑨ AI精度

AI検知の精度を設定します。(数字が大きいほど、感度が高くなります)

⑩ 推論モード

検知対象の中心: 被写体の中心部が検知エリアに侵入することで検知します。

検知対象の底部: 被写体の底部が検知エリアに侵入することで検知します。

⑪ エリア設定

マウスの左をクリックアンドドラッグして検知エリアを設定します。(検知エリアは選択したエリアと同じ色で表示されます)

⑫ マスク設定(p.18)

検知エリア内で検知対象外とするエリアを設定します。(灰色の枠で表示されます)

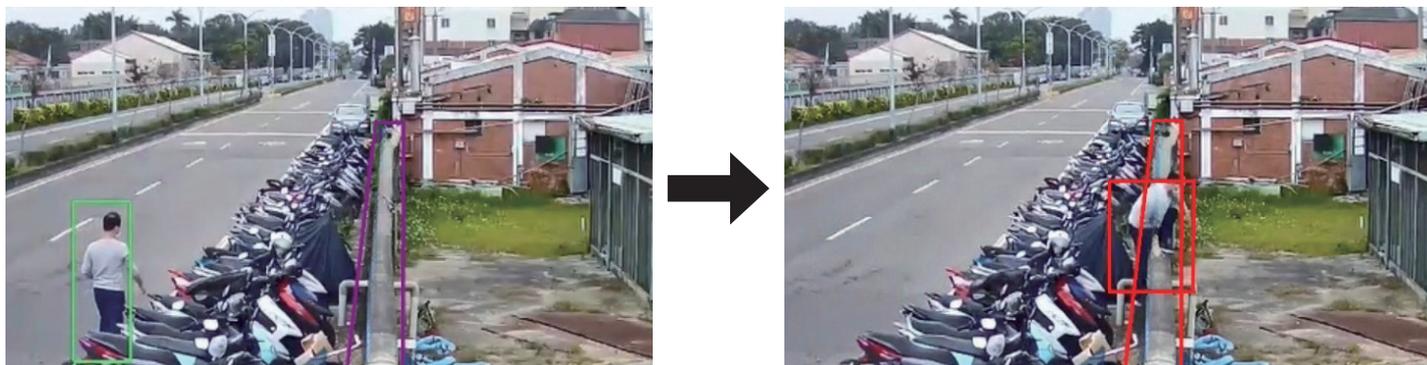
⑬ 設定を初期値に戻します。**⑭ 設定した値を保存します。**

イベントの定義方法

設定した数量以上の被写体が検出エリアに入り、設定した滞在時間を超えると、検出エリアが赤色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。検知対象の被写体は赤色の枠、検知対象外の被写体は緑色の枠で表示されます。

特定エリア侵入検知

例：検知対象を人間、発報条件を数量1と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの紫色の枠内にいる人物が滞在時間を超えて、検出エリアが赤色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。



行列検知

例：検知対象を人間、発報条件を数量2と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの青色の枠内にいる人物が2人以上並んで滞在時間を超えて、検出エリアが赤色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。



集まり検知

例：検知対象を人間、発報条件を数量3と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの緑色の枠内にいる人物が3人以上集まって滞在時間を超えて、検出エリアが赤色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。



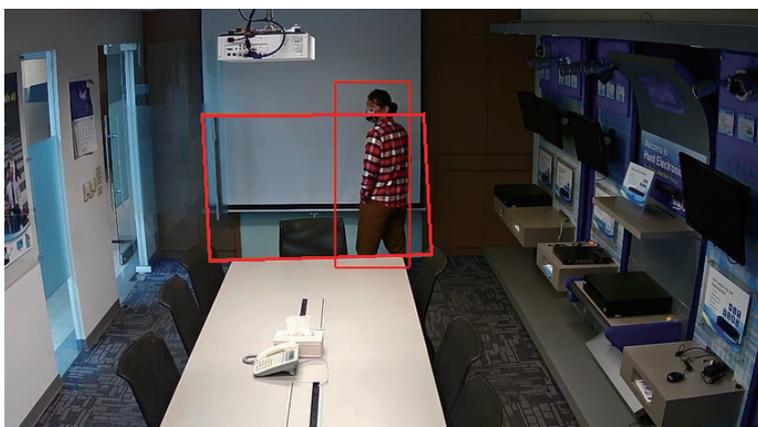
侵入検知

例: 検知対象を人間と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの黄色の枠内にいる人物が侵入することで、検出エリアが赤色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。



滞留検知

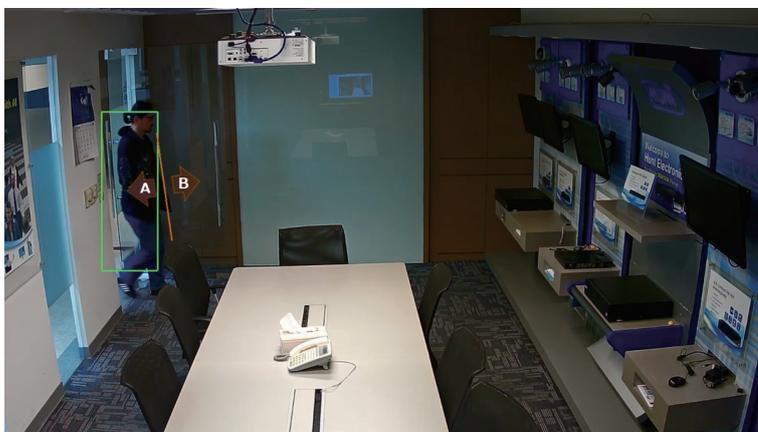
例: 発報条件の滞在時間を10秒と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの枠内で人物が10秒以上滞在することで、検出エリアが赤色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。



ラインクロス検知

例: 検知対象を人間、発報条件をA->Bと設定した場合、下記画面のように、検出ラインをAからBに人物が移動することで、検出ラインが赤色で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報します。

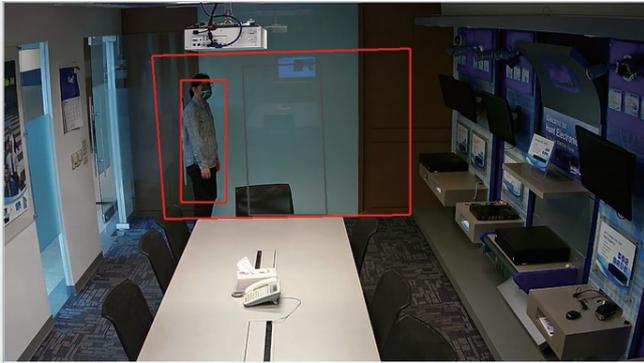
- 下記画面では、足元までラインが引かれていないため、推論モードを検知対象の中心に設定しないと検知しません。



カーソルを検出ラインの周りや中心に移動することで、カーソルが変化し、検出ラインの長さや、回転操作をすることができます。

マスク設定

例: 検出エリア内にマスクエリアを設定した場合、検知対象の被写体がマスクエリア(灰色の枠)に入れば、検知対象外となり、下記画面のように被写体が緑色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件を発報しません。



各設定の変更は、管理者のみ行えます。
設定を変更したら画面右下の「適用」ボタンをクリックしてください。

- ①カメラ映像画面(p.12)の右上の  アイコンをクリックします。
 - 設定画面を表示します。
- ②「設定メニュー」から設定する項目を選び、クリックします。
- ③「設定項目」の設定を変更します。
- ④設定を変更したら、画面右下の「適用」をクリックします。

クリックするとカメラ映像画面(p.12)に戻ります。



設定を変更したらクリックします。

設定メニュー 一覧

システム	システム情報 (p.20)
	ユーザー管理 (p.23)
	システムアップデート (p.25)
ネットワーク	IP設定 (p.28)
	アドバンスド設定 (p.32)
	PPPoE/DDNS設定 (p.36)
	サーバー設定 (p.37)

A/V設定	映像設定 (p.40)
	ビデオ設定 (p.42)
	オーディオ設定 (p.44)
イベント	イベント設定 (p.44)
	スケジュール (p.47)
	I/O設定 (p.49)
	ログリスト (p.50)
	SDカード (p.51)

システム情報

The screenshot shows the 'システム情報' (System Information) settings page. The left sidebar contains navigation options: システム情報, ユーザー管理, システムアップデート, IP設定, アドバンスド設定, PPPoE/DDNS設定, サーバー設定, ネットワーク, 映像設定, ビデオ設定, A/V設定, オーディオ設定, イベント設定, スケジュール, I/O設定, ログリスト, イベント, SDカード. The main content area is titled 'システム情報' and includes sections for: システム情報 (MAC address, camera name, LED display, language), OSD設定 (time stamp, text), 時刻設定 (time, display format, time zone, NTP), and EasyLink (ID, QR code). A '適用' (Apply) button is at the bottom right. Numbered callouts 1-4 point to the MAC address field, the OSD Display section, the NTP server section, and the QR code respectively.

設定を変更したらクリックします。

① システム情報

MACアドレス

本機(カメラ)のMACアドレスの値が表示されます。

カメラ名

本機の名称を設定します。

「ステータスバーに表示」にチェックを入れると、カメラ映像画面の下部に「カメラ名」を表示します。

LED表示

インジケータ LEDの表示/非表示を選択します。

言語

画面で主に表示される言語を選択します。

② OSD設定

OSD設定	
タイムスタンプ	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
テキスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
OSD_Display <small>テキスト編集</small>	

タイムスタンプ

カメラ画面に日時を表示します。(デフォルト：無効)

位置

タイムスタンプを「有効」にした場合に表示されます。
日時の表示する場所を指定します。

テキスト表示

カメラ映像画面の左上にテキストを表示します。(デフォルト：無効)

「テキスト編集」をクリックするとテキスト編集画面(下記)が表示され、テキストの内容、サイズ、文字色、透過率の設定ができます。



- テキスト：カメラ映像画面に表示する任意の内容を入力します。
- サイズ：カメラ映像画面に表示するテキストのサイズを設定します。
- 文字色：カメラ映像画面に表示するテキストの色を設定します。
- 透過率：カメラ映像画面に表示するテキストの透明度を設定します。

③ 時刻設定

時刻設定

時刻 1970/1/19 10:0:22 タイムゾーン GMT+09:00

表示形式 yy/mm/dd mm/dd/yy dd/mm/yy

タイムゾーン

サマータイム有効

NTP

NTPサーバー

更新間隔 時間

時間補正 分[-1440...1400]

PC時刻を設定する

日付

時間

手動

日付

時間

日付と時間を今のままにします

時刻

現在設定されている本機(カメラ)の時刻を表示します。

表示形式

年月日の表示形式を選択します。

タイムゾーン

標準時刻に対する時差の設定をします。(デフォルト:無効)
(日本の場合、タイムゾーンは「GMT+09:00」です)

サマータイム有効

チェックを入れるとサマータイム期間の設定画面が表示されます。
サマータイムの期間を設定します。

サマータイム有効

	月	曜日	時間
開始時間:	<input type="text" value="3月"/>	<input type="text" value="第2週"/>	<input type="text" value="日曜日 12 am"/>
終了時間:	<input type="text" value="11月"/>	<input type="text" value="第1週"/>	<input type="text" value="日曜日 12 am"/>

NTP

NTPサーバーから時刻情報を取得する場合に選択します。

NTPサーバー: NTPサーバー名を入力します。

更新間隔: 更新間隔の時間を選択します。

時間補正: 時間補正の時間(分)を入力します。

PC時刻を設定する

パソコンから時刻情報を取得する場合に選択してください。
「適応」をクリックするタイミングで、1回のみパソコンから時刻情報を取得して、「日付と時間を今のままにします」に移動します。

手動

手動で日時を設定する場合に選択します。
日付と時間を入力します。
「適応」をクリックするタイミングで、1回のみ手動で設定した時刻を取得して、「日付と時間を今のままにします」に移動します。

日付と時間を今のままにします

時刻に表示されている情報をカメラ映像画面に表示します。

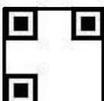
●「PC時刻を設定する」、「手動」を選択すると、選択されます。

ご注意 時刻情報が常にズレないようにする場合は、NTPで設定してください。

④ EasyLink

EasyLink

EasyLink ID:

QR Code: 

ご注意

IPmotionに本機を登録する場合は、本機が外部ネットワークに接続されていることを確認してください。

IPmotionアプリをスマートフォンなどのデバイスにインストールして、EasyLink ID を入力、またはQRコードをスキャンすることで、IPmotionアプリを通じて カメラ映像を視聴します。
[詳細は「スマートフォンの設定をする」(p.54、p.55)をご覧ください]

ユーザー管理

ユーザー管理

匿名(Anonymous)ユーザーログイン

有効 無効

ユニバーサルパスワード(IPアドレスにより異なります。)

有効 無効

ユーザー追加

ユーザー名
 パスワード
 パスワード(確認)

ユーザーリスト

ユーザー名	グループ	編集	削除
admin	Administrator	編集	-----

初期パスワード

「初期パスワードを変更してください。」のメッセージを表示します。

① 匿名(Anonymous)ユーザーログイン

ログイン認証せず、カメラ映像画面へのアクセスを許可するかを選択します。

有効: カメラ映像画面までログイン認証無しで表示することができます。
 (設定画面に入るには、ユーザー名とパスワードが必要になります)

無効: ログイン時にユーザー名とパスワードが必要になります。

設定を変更したら画面の「適用」をクリックしてください。

② ユニバーサルパスワード

本機は、この機能を使用しません。

③ ユーザー追加

新しいユーザーを追加します。

新しいユーザー名、パスワードを設定して「追加」をクリックすると、新しいユーザーがユーザーリストに追加されます。

④ ユーザーリスト

登録されているユーザーを表示します。

ユーザーリスト			
ユーザー名	グループ	編集	削除
admin	Administrator	編集	-----
maspro	Guest	編集	削除

ユーザー名

登録されているユーザー名が表示されます。

グループ

ユーザーのグループ名が表示されます。

Administrator : すべてを操作できます。

Guest : ライブビデオ、時間同期、位置設定、再生視聴、およびプレイリストの確認にアクセスする権利を有します。

編集

「編集」をクリックすると、ユーザー設定画面が表示されてユーザー名とパスワードが変更できます。

削除

「削除」をクリックすると、確認メッセージが表示され「OK」をクリックすると選択したユーザーが削除されます。

ご注意 Administratorグループのユーザーを削除することはできません。

⑤ 初期パスワード

「初期パスワードを変更してください。」メッセージは、カメラ映像画面に表示される初期パスワードを変更するようユーザーに提案するサインです。

初期パスワードを変更せずにメッセージを消去する場合は、チェックを外してください。

システムアップデート

システムアップデート

ファームウェア更新

現バージョン	VT2.A.2.47_MK	
新バージョン	<input type="text"/>	参照...
		<input type="button" value="更新"/>

オンラインファームウェア更新

自動更新 無効 有効

自動確認 無効 有効

状態：
最新バージョンがあるか確認してください

再起動

工場出荷時設定

設定管理

設定ファイル保存 マウスで [ここ](#) をクリックしてください。"保存"を選択し、PCに現在の設定を保存してください。

設定ファイル読込 [参照...](#)

AI設定

AI設定 [参照...](#)

AIバージョン

Lib: AI02.08

Model: MS02.02

AIマネジメント

状態 有効

ライセンス

① ファームウェア更新

現バージョン

現在のファームウェアバージョンを表示します。

新バージョン

最新のファームウェアバージョンに更新します。

《ファームウェアを更新する場合》

1. 「参照」をクリックして、更新するファームウェアを選択します。
2. 「更新」をクリックして、確認画面で「OK」をクリックしてアップデートを開始します。
3. 更新完了後にブラウザを終了し、再度、IP Installerで機器検索をして本機に再度アクセスしてください。
 - ブラウザー画面に「Mini Web Update」と表示された場合は、「ファイルの選択」をクリックして、再度、更新するファームウェアを選択して、「update」をクリックしてアップデートしてください。

ご注意 故障の原因となりますから、更新中は本機(カメラ)の電源は絶対に切らないでください。

- 最新のファームウェア情報についてはマスプロホームページをご覧ください。
<https://www.maspro.co.jp/support/prod/sc/>

② オンラインファームウェア更新

自動更新

ネットワークに接続している場合は、有効に設定することで自動的に最新ファームウェアに更新されます。
(録画中でも自動的に更新されるため、録画が3分ほど停止します)

自動確認

ネットワークに接続している場合は、有効に設定することで自動的にサーバーを確認して、最新ファームウェアがあれば、状態表示が「最新バージョンがリリースされました」に変更されます。
「更新」をクリックすると、最新ファームウェアに更新されます。
「バージョンを確認する」をクリックすると、最新バージョンがあるか確認します。

TS5-R4P、TS5-R8PのPoEポートに接続されている場合は、作動しません。

ご注意 故障の原因となりますから、更新中は本機(カメラ)の電源は絶対に切らないでください。

③ 再起動

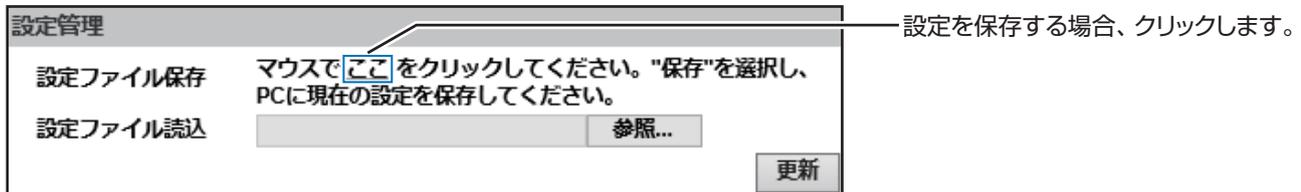
「開始」ボタンをクリックすると確認画面が表示され、「OK」をクリックすると本機(カメラ)が再起動します。

④ 工場出荷時設定

「開始」ボタンをクリックすると確認画面が表示され、「OK」をクリックすると本機を工場出荷時の設定に初期化します。
●IP設定画面のポート設定は初期化されません。
すべての設定情報を初期化するには、「お買上げ時(工場出荷時)の状態に戻す」(p.58)をご覧ください。

⑤ 設定管理

現在の本機の設定を保存することができます。
AI設定の情報は保存されません。AI設定の情報を保存する場合は、「⑥ AI設定」(p.27)で設定を保存してください。



設定ファイル保存

「ここ」をクリックするとポップアップが表示されます。「保存」をクリックして設定ファイルを保存します。



設定ファイル読込

「参照」をクリックし、設定変更する設定ファイルを選択して「更新」をクリックします。
確認画面が表示されますから、「OK」をクリックすると更新を開始します。

Setting File Update OK!
It is strongly recommended to stop any unnecessary jobs while updating Setting File.
Please be patient and the updating process may take a long time.

```
Invalid i3_Roi_QP_area2 -1: out of range 1-10
Invalid i3_Roi_QP_area3 -1: out of range 1-10
Invalid i_stream_feature3 -1: out of range 0-2
Invalid MulticastPortV3 -1: out of range 1-65535
Invalid MulticastPortA3 -1: out of range 1-65535
Invalid MulticastPortM3 -1: out of range 1-65535
Invalid MulticastTTLV3 -1: out of range 1-255
Invalid MulticastTTLA3 -1: out of range 1-255
Invalid MulticastTTLM3 -1: out of range 1-255
Invalid i_RTMP_Enable -256: out of range 0-1
Setting File upgrade complete.
load index.html.
```

設定更新が完了すると「Setting File Update OK!」と表示されます。
「index.html」をクリックして、カメラ映像画面に戻ります。

⑥ AI設定

AI設定ファイル保存

「ダウンロード」をクリックするとポップアップが表示されます。「保存」をクリックして設定ファイルを保存します。



AI設定ファイル読込

「参照」をクリックし、設定変更する設定ファイルを選択して「更新」をクリックします。確認画面が表示されますから、「OK」をクリックすると更新を開始します。

⑦ AIバージョン

本機は、この機能を使用しません。

⑧ AIマネジメント

本機は、この機能を使用しません。

IP設定

システム情報

システム

ネットワーク

A/V設定

イベント

IP設定

IP設定

DHCP
 固定IP

IPアドレス: 192.168.10.106

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 192.168.10.1

DNS 1: 192.168.10.1

DNS 2: 168.95.1.1

IPv6設定

IPv6有効
 IPv6手動設定

DHCPv6: 有効 無効

[IPv6アドレス]
ローカルリンク: fe80::20f:dff:fe30:8f2f

ポート設定

HTTPポート: 80

HTTPSポート: 443 HTTPS設定

P2Pポート: 83

UPnP

UPnP: 有効 無効

UPnPポート転送: 有効 無効

外部HTTPポート: 80

外部HTTPSポート: 443

外部RTSPポート: 554

RTSPサーバー設定

RTSPサーバー: 有効 無効

RTSP認証: 無効

RTSPポート: 554

RTSP開始ポート: 5000 [1024..9997]

RTSP終了ポート: 9000 [1027..10000]

ONVIF

ONVIF: 22.12 無効

認証: 有効 無効

RTSPキーフアライブ: 有効 無効

Bonjour

Bonjour: 有効 無効

Bonjour名: IP_Camera @00:0F:0D:30:8F:2F

LLTD (Link Layer Topology Discovery)

LLTD: 有効 無効

[適用](#)

設定を変更したらクリックします。

① IP設定

I P 設定	
I P 設定	
<input checked="" type="radio"/> DHCP	
<input type="radio"/> 固定IP	
IPアドレス	192.168.10.106
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
DNS 1	192.168.10.1
DNS 2	168.95.1.1

DHCP

DHCPを使用する場合に選択します。

固定IP

固定IPアドレスで使用する場合に選択します。

IPアドレス

IPアドレスを設定します。

サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを設定します。

DNS 1

優先DNSサーバーを設定します。

DNS 2

代替DNSサーバーを設定します。

② IPv6設定

本機は、この機能を使用しません。

③ ポート設定

ポート設定	
HTTPポート	80
HTTPSポート	443
P2Pポート	83

[HTTPS 設定](#)

HTTPポート

HTTP送信時のポートを設定します。(デフォルト：80)

本機を同一ネットワークで2台以上設置する場合は、識別のため、ポート番号は異なる数値を入力してください。
(設定例 1台目：80、2台目：8080、3台目：8082)

HTTPSポート

本機は、この機能を使用しません。

P2Pポート

P2P送信時のポートを設定します。(デフォルト：83)

④ UPnP

UPnP	
UPnP	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
UPnP ポート転送	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
外部HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
外部HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
外部RTSPポート	<input type="text" value="554"/>

UPnP

UPnP 機能を有効にする場合は「有効」を選択します。(デフォルト:有効)

UPnP ポート転送

ポート開放機能を有効にする場合は「有効」を選択します。

インターネットからアクセスしたネットワークカメラが自動的にルーターのポートを開いて、LANからビデオストリームを送信することができます。この機能を利用するには、ルーターがUPnPをサポートしていて、有効になっている必要があります。

外部HTTPポート

外部 HTTP ポート番号を設定します。

外部 HTTP ポートは HTTP ポートと同じ値を設定してください。

(設定例 HTTP ポート: 80、外部 HTTP ポート:80)

外部HTTPSポート

本機は、この機能を使用しません。

外部RTSPポート

外部 RTSP ポート番号を設定します。

外部 RTSP ポートは「RTSP サーバー設定」(下記)の「RTSP ポート」と同じ値を設定してください。

(設定例 RTSP ポート: 554、外部 RTSP ポート:554)

⑤ RTSPサーバー設定

ストリーミングメディアプレーヤーが RTSP 接続に対応している場合、RTSPプロトコルポートにより接続することができます。

RTSPサーバー設定	
RTSPサーバー	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
RTSP認証	<input type="text" value="無効"/> ▼
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
RTP開始ポート	<input type="text" value="5000"/> [1024..9997]
RTP終了ポート	<input type="text" value="9000"/> [1027..10000]

- TCP接続ではRTSPポート、UDP接続ではRTP開始、終了ポートを使用します。
- 「UPnP」の外部 RTSP ポートにも同じ値を設定してください。
- アドレス形式 rtsp://[IPアドレス]:[RTSPポート]

RTSPサーバー

RTSP サーバーを使用する場合は「有効」を選択します。

RTSP認証

RTSP の認証方法を選択します。

無効

: RTSPのURL を入力すると、ユーザー名、パスワードが不要なく、RTSPを通じて本機(カメラ)に接続できます。

ベーシック認証/ダイジェスト認証: ユーザー名、パスワードを入力して本機に接続します。

ベーシック認証のパスワードは、クリアテキストとして送信されるため、セキュリティレベルが低くなります。ダイジェスト認証は ベーシック認証よりセキュリティレベルが高くなります。

使用しているストリーミングメディアプレーヤーに対応する認証を選択してください。

RTSPポート

RTSP 接続ポート番号を設定します。

本機(カメラ)を同一ネットワークで2台以上設置する場合は、識別のため、ポート番号は異なる数値を入力してください。

(設定例 1台目: 554、2台目: 2000、3台目: 2020)

RTP開始ポート/ RTP終了ポート

RTP 開始ポート番号とRTP終了ポート番号を設定します。

6 ONVIF

ONVIF		
ONVIF	<input checked="" type="radio"/> 22.12	<input type="radio"/> 無効
認証	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効
RTSPキープアライブ	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効

ONVIF

ONVIF のバージョンを選択します。

●RTSPサーバー設定が「有効」になっていることを確認してください。

認証

ONVIF を認証して接続する場合は「有効」を選択してください。

RTSPキープアライブ

「有効」を選択すると、一定間隔で RTSP の接続状態を確認します。

接続が遮断された場合、ストリーム送信を停止します。

ご注意 ONVIF 規格製品でも、機器によっては、本機に接続できない場合があります。

7 Bonjour

本機は、この機能を使用しません。

8 LLTD

本機は、この機能を使用しません。

アドバンス設定

HTTPS

本機は、この機能を使用しません。

SNMP

SNMP設定

SNMP

SNMP 設定

SNMPv1 SNMPv2c

Writeコミュニティ名

Readコミュニティ名

SNMPv3

Writeセキュリティ名

認証タイプ MD5 SHA

認証パスワード

暗号化タイプ DES AES

暗号化パスワード

Readセキュリティ名

認証タイプ MD5 SHA

認証パスワード

暗号化タイプ DES AES

暗号化パスワード

SNMPv1/v2c Trap

Trapアドレス

Trapコミュニティ名

Trapイベント

- 起動
- 設定変更
- ネットワーク切断
- V3認証失敗
- SDカード挿抜

設定を変更したらクリックします。

SNMPv1/SNMPv2c

使用するSNMPを選択します。

Writeコミュニティ名

Writeに使用するコミュニティ名を設定します。

Readコミュニティ名

Readに使用するコミュニティ名を設定します。

SNMPv3

SNMPv3を使用するときにチェックを入れます。

Writeセキュリティ名

書込みに使用するセキュリティ名を設定します。

認証タイプ

認証タイプを選択します。

認証パスワード

認証パスワードを設定します。

暗号化タイプ

暗号化のタイプを選択します。

暗号化パスワード

暗号化パスワードを設定します。

Readセキュリティ名

読込みに使用するセキュリティ名を設定します。

認証タイプ

認証タイプを選択します。

認証パスワード

認証パスワードを設定します。

暗号化タイプ

暗号化タイプを選択します。

暗号化パスワード

暗号化パスワードを設定します。

SNMPv1/v2c Trap

SNMPv1/v2c Trapを使用するときにチェックを入れます。「起動や再起動」、「設定変更」、「ネットワーク切断」、「V3 認証失敗」を行なった場合、本機(カメラ)からTrapアドレスに設定したアドレスにトラップメッセージのメールを送信します。

Trapアドレス

Trapアドレスを設定します。

Trapコミュニティ名

Trapコミュニティ名を設定します。トラップメッセージが受信できるTrapコミュニティ名を指定します。

Trapイベント

Trapイベントを選択します。

IPアクセスリスト

IPアドレスフィルター設定

IPアクセスリスト

IPアドレスフィルター設定

IPアドレスフィルター有効

IPv4 設定

許可
 拒否

▼ アドレス

IPv4リスト

No.	IPアドレス	フィルター	アクション
1			<input type="button" value="削除"/>
2			<input type="button" value="削除"/>
3			<input type="button" value="削除"/>
4			<input type="button" value="削除"/>
5			<input type="button" value="削除"/>
6			<input type="button" value="削除"/>
7			<input type="button" value="削除"/>
8			<input type="button" value="削除"/>
9			<input type="button" value="削除"/>
10			<input type="button" value="削除"/>

管理者IPアドレスにこの端末へのアクセスを常時許可

管理者IPアドレス

設定を変更したら
クリックします。

IPアドレスを指定して本機(カメラ)へのログインを許可または拒否します。
以下の手順で設定します。

- ① IPフィルタリングを利用する場合、「IPアドレスフィルター有効」にチェックを入れます。
- ② 「許可」または「拒否」を選択します。
- ③ 「単一指定」または「範囲指定」を選択します。
- ④ IPアドレスを入力し「追加」をクリックします。
 - 削除する場合は、IPv4リストの削除したいIPアドレスの右側の「削除」をクリックします。
(同一IPアドレスを「許可」、「拒否」登録した場合、登録番号の小さい方の登録が有効になります)
 - 管理者のIPアドレスを登録することで、IPフィルターに関わらず常にアクセスを許可できます。
- ⑤ 管理者IPアドレスでこの端末へのアクセスを常時許可する場合は、「管理者IPアドレスにこの端末へのアクセスを常時許可」にチェックを入れます。
- ⑥ 管理者のパソコンに割り当てられたIPアドレスを入力します。

QoS/DSCP

QoS/DSCP設定

QoS/DSCP

QoS/DSCP 設定

QoS/DSCP 有効

ライブストリーム	0	(0~63)
イベント/アラーム	0	(0~63)
管理	0	(0~63)

更新

設定を変更したら
クリックします。

QoS/DSCP 有効

QoS/DSCP を有効に設定します。

ライブストリーム

ライブストリームの設定値を設定します。

イベント/アラーム

イベント/アラームの設定値を設定します。

管理

管理の設定値を設定します。

- 設定値は、各項目が占める帯域幅比率を表し、各項目の数値を「5」、「15」、「20」と設定すると、この3項目が割り当てた帯域幅比率は「5:15:20」になります。
- 3項目を全て0に設定した場合、各比率は等分の1/3になります。
- 各項目が制御する通信プロトコルは以下のとおりです。
 - ライブストリーム：RTP / RTSP
 - イベント/アラーム：FTP / SMTP / SAMBA / SIP
 - 管理：HTTP/SNTP

IEEE802.1x

本機は、この機能を使用しません。

マルチキャスト

マルチキャスト設定(ストリーミング1~4)

RTSPサーバーによるマルチキャスト送信の設定をします。
 マルチキャスト送信を設定すると、ネットワーク帯域幅を節約できます。
 ストリーム1、ストリーム2 それぞれに、IPアドレス、ポート、TTLを設定します。

マルチキャスト		
マルチキャスト設定		
ストリーミング1		
ビデオIPアドレス	<input type="text" value="234.200.200.0"/>	[224.3.1.0 ~ 239.255.255.255]
ビデオポート	<input type="text" value="7000"/>	[1 ~ 65535]
ビデオTTL	<input type="text" value="15"/>	[1 ~ 255]
オーディオIPアドレス	<input type="text" value="234.200.200.0"/>	[224.3.1.0 ~ 239.255.255.255]
オーディオポート	<input type="text" value="7002"/>	[1 ~ 65535]
オーディオTTL	<input type="text" value="15"/>	[1 ~ 255]
メタデータIPアドレス	<input type="text" value="234.200.200.0"/>	[224.3.1.0 ~ 239.255.255.255]
メタデータポート	<input type="text" value="7004"/>	[1 ~ 65535]
メタデータTTL	<input type="text" value="15"/>	[1 ~ 255]
ストリーミング2		
ビデオIPアドレス	<input type="text" value="234.200.200.1"/>	[224.3.1.0 ~ 239.255.255.255]
ビデオポート	<input type="text" value="7000"/>	[1 ~ 65535]
ビデオTTL	<input type="text" value="15"/>	[1 ~ 255]
オーディオIPアドレス	<input type="text" value="234.200.200.1"/>	[224.3.1.0 ~ 239.255.255.255]
オーディオポート	<input type="text" value="7002"/>	[1 ~ 65535]
オーディオTTL	<input type="text" value="15"/>	[1 ~ 255]
メタデータIPアドレス	<input type="text" value="234.200.200.1"/>	[224.3.1.0 ~ 239.255.255.255]
メタデータポート	<input type="text" value="7004"/>	[1 ~ 65535]
メタデータTTL	<input type="text" value="15"/>	[1 ~ 255]

更新

設定を変更したら
クリックします。

ビデオIPアドレス

ビデオIPアドレスを設定します。

ビデオポート

ビデオポート番号を設定します。

ビデオTTL

ビデオTTLを設定します。

オーディオIPアドレス

オーディオIPアドレスを設定します。

オーディオポート

オーディオポート番号を設定します。

オーディオTTL

オーディオTTLを設定します。

メタデータIPアドレス

メタデータIPアドレスを設定します。

メタデータポート

メタデータポート番号を設定します。

メタデータTTL

メタデータTTLを設定します。

PPPoE/DDNS設定

PPPoE/DDNS設定

PPPoE 設定
 有効 無効
 ユーザー名
 パスワード

接続後メール送信
 有効
 件名

DDNS 設定
 有効 無効
 プロバイダー
 ユーザー名
 自動更新 分

状態

Idle

注意
 1. 自動更新：自動更新の設定時間に従って、DDNS サイトページを自動的に更新。範囲は5～5000分です。
 *0: 更新されません。
 2. dyndns.org：1日1回の更新が推奨されます(1日は1440分)。あまり頻繁に更新すると、切断されます。

①

②

③

④

 設定を変更したら
 クリックします。

① PPPoE設定

PPPoE経由でインターネットに接続する場合は有効を選択し、インターネットサービスプロバイダーから提供されるユーザー名とパスワードを入力します。

② 接続後メール送信

本機は、この機能を使用しません。

③ DDNS設定

有効/無効

DDNSを使用する場合は有効を選択します。

プロバイダー

ddns.camddns.com(TW)を選択します。

ユーザー名

ユーザー名を15文字以内で設定します。

自動更新

DDNSを更新する時間を設定します。

④ 状態

DDNS設定を登録してから「適用」をクリックすることで設定を保存し、DDNSの状態を表示します。

Idle：DDNS機能停止中

Updating：更新中

http://<ユーザー名>.ddns.camddns.com：DDNSの登録完了です。

ドメイン名は「<ユーザー名>.ddns.camddns.com」となります。

Update Failed, the name is already registered：ユーザー名が既に使用されています。

Update Failed, please check your internet connection：ネットワーク接続に問題がありますから、確認してください。

ご注意 DDNSは予告なく終了することがあります。あらかじめご了承ください。

サーバー設定

サーバー設定

メール設定

ログイン方法 アカウント ▼

メールサーバー

ユーザー名

パスワード

送信元メール

宛先メール

BCC

メールポート (デフォルト 25)

TLS接続

テスト

FTP設定

SAMBA設定

RTMP設定

AI Http通知設定

適用

①

②

③

④

⑤

設定を変更したら
クリックします。

① メール設定

ログイン方法

ログイン方法を選択します。

メールサーバー

送信メールサーバーのアドレスを設定します。

ユーザー名

メールサーバーのユーザー名を設定します。

パスワード

メールサーバーのパスワードを設定します。

送信元メール

送信元(本機で使用する)メールアドレスを設定します。

宛先メール

送信先のメールアドレスを設定します。

送信先は、メールを「;」で区切って最大 3箇所まで、64 文字以下で設定できます。

[****@***.ne.jp ; ****@***.ne.jp ; ****@***.ne.jp]

BCC

BCC で送信するメールアドレスを設定します。

メールポート

メールサーバーのポート番号を設定します。
(デフォルト: 25)

TLS接続

TLS認証がある場合は、チェックを入れます。

《Gmailアカウントでの登録方法(2025年6月現在)》

ログイン方法	アカウント
メールサーバー	smtp.gmail.com
ユーザー名	000@gmail.com
パスワード	アプリパスワードを設定 します。 ●Googleアカウントの セキュリティから、2段 階認証プロセスをオン に設定して、アプリパス ワードを発行します。
送信元メール	000@gmail.com
宛先メール	送信先のメールアドレス を設定します。
BCC	BCCで送信するメール アドレスを設定します。
メールポート	587
TLS接続	チェックを入れます。

同じアドレス
を入力

「テスト」をクリックして、宛先メールアドレスにテストメールを送信することができます。

●不明な場合は、契約されているプロバイダーサービスにご確認ください。

② FTP設定

FTP設定	
FTPサーバー	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
ポート	<input type="text" value="21"/>
パス(Path)	<input type="text" value="/"/>
モード	ポートモード ▼
SFTP	無効 ▼
フォルダー作成	Yes ▼ (ex:Path/20100115/121032m.avi)
<input type="button" value="テスト"/>	

FTPサーバー

FTP サーバーのアドレスを設定します。

ユーザー名

FTP サーバーのユーザー名を設定します。

パスワード

FTP サーバーのパスワードを設定します。

ポート

FTP サーバーのポート番号を設定します。
(デフォルト: 21)

パス(Path)

パスを設定します。

モード

「ポートモード」または「パッシブモード」を選択します。

SFTP

SFTPを設定します。

フォルダー作成

日付別のフォルダーを作成するかを選択します。

ご注意 モード設定時には、FTP サーバーが設定モードに適合していることを確認してください。

③ SAMBA設定

SAMBA設定	
ロケーション	<input type="text"/> (ex:\\Nas_ip\folder)
ワークグループ	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
フォルダー作成	Yes ▼ (ex:Path/20100115/121032m.avi)
<input type="button" value="テスト"/>	

ロケーション

保存先のパスを設定します。

ワークグループ

SAMBAのワークグループを設定します。

ユーザー名

SAMBAのユーザー名を設定します。

ユーザーパスワード

SAMBA のパスワードを設定します。

フォルダー作成

日付別のフォルダーを作成するかを選択します。

「テスト」をクリックして、SAMBAにテスト接続することができます。
設定が成功した場合「OK」が表示され、SAMBAにテストファイルが作成されます。

④ RTMP設定

本機は、この機能を使用しません。

⑤ AI Http通知設定

本機は、この機能を使用しません。

映像設定

① プライバシーマスク

撮影したくない範囲にプライバシーマスクを設定することで、映像画面および録画画像の指定した範囲を、黒塗りで表示します。



「エリア 1」、「エリア 2」、「エリア 3」、「エリア 4」、「エリア 5」のいずれかをクリックし、表示された映像上で、プライバシーマスクする範囲をクリックアンドドラッグで設定して「保存」をクリックします。

設定したプライバシーマスクを削除する場合は、削除したいカラーのエリア番号をクリックして、カラー色が黒色に変更してから「保存」をクリックします。

② 映像設定

明るさ

映像の明るさを選択します。

コントラスト

映像のコントラストを選択します。

色相

映像の色相を選択します。

シャープネス

映像の鮮明さを選択します。

WDR

明部と暗部のコントラストを補正し、露出過多あるいは露出不足を防ぎます。

ノイズリダクション(3D)

3Dのノイズリダクションを選択します。

ノイズリダクション(2D)

2Dのノイズリダクションを選択します。

- 3Dノイズと2Dノイズは 2つの異なるノイズ除去方法で、それぞれにノイズ除去のレベルを設定できます。
- レベルを高くするほどノイズが除去されますが、映像の遅延が大きくなります。

シャッタースピード

カメラの設置場所に応じて、シャッター時間を設定します。シャッター時間が短いほど、カメラに入る光量が少なくなり、映像が暗くなります。

低照度時シャッター

低照度の環境で撮影した際に、設定した値までシャッタースピードが調整されます。シャッター時間が長いほど、より明るい映像が得られますが、同時に動体の残像現象が現れる可能性があります。

AE補正

露出レベルを上げると映像が明るくなり、露出レベルを下げると映像が暗くなります。

彩度

映像の彩度を選択します。

AGC

周囲の明るさに応じて自動的に映像の明るさを調整する値を選択します。値を高くすると、低照度の環境でも、明るい映像を撮影することができますが、映像のノイズが増える可能性があります。

バックライト補正

被写体が暗く映ってしまう現象を補正し、映像を明るく鮮明にします。

低照度時自動調整

カメラがさまざまな照明環境で低ルクスレベルを自動的に調整します。

霧補正

霧や煙が多い環境での映像の鮮明さを向上させます。

霧補正レベル

霧補正レベルを選択します。

ビデオ向き

映像の上下反転、左右反転を設定します。

デイ/ナイトモード

撮影するモードを選択します。

《照度センサーモード》

周囲の明るさに応じて、デイ/ナイトモードを切換えます。

ナイト→デイ インターバル

デイモードを切替えるインターバルの時間(秒)を設定します。

デイ→ナイト インターバル

ナイトモードを切替えるインターバルの時間(秒)を設定します。

デイモード切替照度

デイモードに切替える照度lux(約)を設定します。

ナイトモード切替照度

ナイトモードに切替える照度lux(約)を設定します。

現在の照度

現在の明るさを表示します。照度ボタンをクリックすると、照度を再測定します。

IR強度

白黒モード時のIR照射の強さを設定します。

《カラーモード(Day)》

カラーモード(Day)に固定されます。

《白黒モード(Night)》

白黒モード(Night)に固定されます。

《タイムモード》

時刻に応じて、カラーモードと白黒モードを切換えます。昼(カラーモード)と夜(白黒モード)の開始時間を設定して「時間を保存」をクリックします。

《DI入力に同期》

本機は、この機能を使用しません。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを設定します。

自動 : 自動で調整します。

白熱球 : 白熱球色に調整します。

太陽光 : 太陽光色に調整します。

曇り : 曇り色に調整します。

雨雲 : 雨雲色に調整します。

Red Gain

赤色レベルを設定します。

Blue Gain

青色レベルを設定します。

- 映像の赤色および青色の色彩を強調します。

「デフォルト」をクリックすると設定が初期値に戻ります。

ビデオ設定

ビデオ設定	
解像度	1920x1080 @ 30fps
カメラ信号	NTSC
コリダーモード	回転なし
ストリーム1設定	
解像度	1920x1080
プロフィール	Main
ビットレート管理モード	<input checked="" type="radio"/> CBR <input type="radio"/> CVBR
ビデオ量子化マトリクス	7
ビデオビットレート	4Mbps
ビデオフレームレート	30 FPS
GOPサイズ	1 X FPS GOP = 30
圧縮形式	H.264
ストリーム機能	<input type="radio"/> ROI <input type="radio"/> スマートストリーム <input checked="" type="radio"/> 無効
RTSP パス	<input type="text"/> ex:rtsp://IP_Address/ Audio:G.711
ストリーム2設定	
<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
解像度	640x480
プロフィール	Baseline
ビットレート管理モード	<input checked="" type="radio"/> CBR <input type="radio"/> CVBR
ビデオ量子化マトリクス	7
ビデオビットレート	512Kbps
ビデオフレームレート	15 FPS
GOPサイズ	1 X FPS GOP = 15
圧縮形式	H.264
ストリーム機能	<input type="radio"/> ROI <input type="radio"/> スマートストリーム <input checked="" type="radio"/> 無効
RTSP パス	v2 <input type="text"/> ex:rtsp://IP_Address/v2 Audio:G.711
ストリーム3設定	
<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
ストリーム4設定	
<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
スナップショット設定	
画質設定	8
<input type="button" value="適用"/>	

設定を変更したらクリックします。

① ビデオ設定

解像度

映像の解像度を設定します。

カメラ信号

本機は、この機能を使用しません。

コリダーモード

映像の90度回転、270度回転を選択します。

ご注意 コリダーモードで画面を回転させると、AI検知機能は作動しません。

② ストリーム設定(ストリーム1～4)**解像度**

解像度を選択します。

プロフィール

ビデオの帯域幅消費量に基づいて選択します。

ビットレート管理モード

ビットレート管理モードを選択します。

CBR : ビットレートが固定されます。

CVBR : 映像の複雑度に応じてビットレートを可変します。

CVBR は品質とファイルサイズを最適化しますが、ファイルサイズを予測できません。また、圧縮率がネットワーク帯域幅を上回る場合、映像の破損や遅れが生じる可能性があります。

ビデオ量子化マトリクス

CVBRを選択時に有効になります。詳細な画像を処理する必要がある監視環境では、より高いパラメータ値で画質を設定する必要があります。CVBRが適用されると、ビデオビットレート制限で設定されたパラメータ値が最大ビットレートに達することがあります。したがって、設定されたパラメータ値が高いほど、より大きなビットレートを実現でき、より詳細な環境での画質が向上します。

ビデオビットレート

ビデオビットレートを選択します。数値が高いほど画質が良くなります。

ビデオフレームレート

ビデオフレームレートの最大値を選択します。

GOPサイズ

Iフレームが生成される単位フレーム数を設定します。

例えば、30FPSのとき、GOPを1XFPSに設定すると、30フレーム毎にIフレームが生成されます。

Iフレームが多いほど画質が良くなりますが、圧縮率が低下するため、映像データが大きくなります。

また、GOPを2XFPSに設定すると、設定した録画時間よりも長く録画されることがあります。

圧縮形式

画像の圧縮形式を選択します。

ストリーム機能

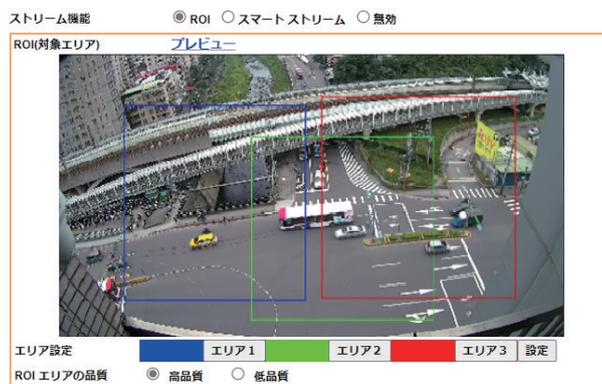
ROI、スマートストリーム、無効を選択します。

《ROI》

この機能により、監視領域の特定の部分をマウスで一度にドラッグして絞り込むことができ、画像の観察やビデオ圧縮率の管理の効率が向上します。

- 1.[プレビュー] をクリックして ROI 機能を有効にします。
- 2.[領域設定]のいずれかの色をクリックし、マウスをドラッグしてプレビュー画面上にROI領域を描画します。

エリア設定 : ROIエリアは最大3つまで設定できます。
ROIエリアの品質: 設定したROIエリアの映像品質を選択します。

**《スマートストリーム》**

画質のパフォーマンスを維持し、より多くの帯域幅を節約するために、フレームレートとビットレートの範囲を設定してストリーム容量を制限します。

ストリーム機能	<input type="radio"/> ROI <input checked="" type="radio"/> スマートストリーム <input type="radio"/> 無効
フレームレート	15 FPS ▼
ビットレート	512Kbps ▼

RTSPパス

RTSPの接続パスを設定します。最大文字数は15文字です。

●アドレス形式 rtsp://[IPアドレス]:[RTSPポート]/RTSPパス

③ スナップショット設定**画質設定**

画質を選択します。

オーディオ設定

本機では使用しません。

イベント設定

イベント設定

モーション検知

エリア設定

1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
5				5				5			
0秒				0秒				0秒			

エリア1 E-mail FTP SDカードに保存 Samba 接点出力
 エリア2 E-mail FTP SDカードに保存 Samba 接点出力
 エリア3 E-mail FTP SDカードに保存 Samba 接点出力

件名:

インターバル: (2つの動き検知を分離できる時間)

スケジュールに従う スケジュール

いたずら検知

いたずら検知: 有効 無効

E-mail FTP 接点出力 SDカードに保存 Samba

インターバル:

録画ファイル

録画形式:

録画設定

プレアラーム: ポストアラーム:

ネットワーク切断

切断: SDカードに保存

(連続録画がオンの場合、断線検出を停止した録画をSDカードプログラムに保存します)

ネットワークチェック

ネットワークチェック: 有効 無効

チェック先:

インターバル:

失敗検知時動作

接続に4回失敗したらIPカメラを再起動。

SDカードに保存

(連続録画がオンの場合、IP位置検出を停止する録画をSDカードプログラムに保存する)
 (IP 検出が失敗した場合、最初のステップは SD カードに保存され、その後、他のストレージが実行されます)

設定を変更したらクリックします。

① モーション検知

エリア設定

動きを感知したい場所を設定します。

1 2 3 4 アイコンをクリックし、感知したいエリアをクリックアンドドラッグで設定します。

感度設定

動きを感知するときの感度を選択します。数値の大きいほうが、より高感度になります。

検知判定時間

動きを感知したとする判定時間を設定します。

エリア 1～エリア 3

動き感知を有効にしたいエリアにチェックを入れます。

利用する通知方法にチェックを入れます。

E-mail : メール設定で指定した宛先に録画ファイルが添付されたメールを送信します。

FTP : FTP サーバーに録画データをアップロードします。

SDカードに保存 : 録画データをSDカードに保存します。

Samba : Sambaに録画データを保存します。

接点出力 : 本機では使用しません。

件名

イベントが検出されたときに受け取る通知のタイトルを入力します。デフォルトは「IP Camera Warning!」です。

インターバル

10秒に設定した場合、モーションが検出されて動きが感知されると、10 秒以内に再度感知することはできません。

スケジュールに従う

スケジュール設定に基づき動作させる場合にチェックを入れます。

② いたずら検知

いたずら検知

いたずらが検出された場合に通知する場合は有効を選択します。

(カメラが覆われたり、移動されたり、強い光が当たったり、焦点が合っていない場合)

利用する通知方法にチェックを入れます。

E-mail : メール設定で指定した宛先に、いたずら前後のスナップショットが添付されたメールを送信します。

FTP : FTP サーバーに、いたずら前後のスナップショットをアップロードします。

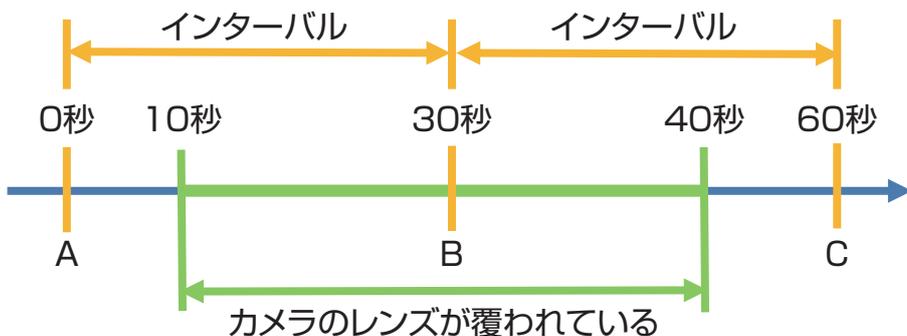
接点出力 : 本機では使用しません。

SDカードに保存 : いたずら前後のスナップショットをSDカードに保存します。

Samba : Sambaに、いたずら前後のスナップショットを保存します。

インターバル

30秒に設定したとすると、カメラのレンズは10～ 40秒間覆われた場合に時点Bで、カメラは映像を時点Aと比較し、レンズが覆われている場合にアラームを送信します。時点Cで、カメラは映像を時点Bと比較し、レンズが露出したときにアラームを送信します。



ご注意

- 動く物の大きさ、本機(カメラ)からの距離や、設置場所の環境により、感知しない場合や、誤感知をすることがあります。この場合、動体感知の感度や本機の設置場所を調整してください。
- 暗い場所では、動きを正しく感知しないことがあります。

③ 録画ファイル

録画形式

映像の録画形式を選択します。

《AVIファイル(記録時間設定付き)》

AVI ビデオ ファイルを保存します。動画の長さは、「録画時間設定」で設定した値に従います。

《JPEGファイル(録画時間設定)》●JPEGファイル形式のストリーミング1のみ。

ストリーミング1で「JPEG」選択時のみ ビデオ設定のビデオ形式に応じて、このオプションを有効にすることができます。複数の JPEG画像ファイルを保存するには、このオプションを選択します。連続する画像ファイルは、「録画時間設定」で設定した値に応じた時間をカバーします。

《JPEGファイル(設定間隔ごとに1ファイル)》

イベント発生時に1つのJPEG画像ファイルを保存します。

④ 録画設定

ブリアラーム

動体感知前の録画時間(0～5秒)を選択します。

ポストアラーム

動体感知後の録画時間(0～5、10秒)を選択します。

⑤ ネットワーク切断

切断

断線を検出した時に録画データをSDカードに保存する場合にチェックを入れます。

⑥ ネットワークチェック

ネットワークチェック

ネットワークチェックを「有効」にすると、定期的にネットワーク接続を確認します。

チェック先

接続確認するIP アドレスまたはURLを設定します。

インターバル

ネットワーク接続を確認する間隔を選択します。

失敗検知時動作

接続に4回失敗したらカメラを再起動する場合にチェックを入れます。

SDカードに保存

IP検出が失敗した時に録画データをSDカードに保存する場合にチェックを入れます。

スケジュール

スケジュール

Profile1

全	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								
日																								

スケジュール設定

プロフィール Profile1 ▼
 プロフィール1名称 Profile1

録画&スナップショット

録画 スナップショット 保存しない

IPカメラ自動再起動

再起動 毎週 ▼ 日曜日 ▼ 00:00 ▼

適用

設定を変更したらクリックします。

① スケジュール設定

- 動体感知を有効にする時間帯をクリックします。(設定した時間帯は緑色で表示されます)
- 設定したスケジュールを有効にする場合は、「モーション検知」の「スケジュールに従う」(p.45)にチェックを入れてください。

スケジュール

Profile1

全	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								
日																								

スケジュール設定

プロフィール Profile1 ▼
 プロフィール1名称 Profile1

プロフィール

リストからプロファイルを選択します。

プロフィール1名称

各プロファイルにプロファイル名を入力して割り当てます。

録画&スナップショット

指定した時間帯に動画や静止画を定期的に保存する場合に選択します。

録画

カレンダーから入力したスケジュールに従ってカメラ映像を録画します。

●下記「[②-1 録画](#)」参照

スナップショット

カレンダーから入力したスケジュールに従ってカメラ映像の静止画を保存します。

●下記「[②-2 スナップショット](#)」参照

保存しない

動画や静止画を保存しません。

②-1 録画

録画

SDカードに保存 保存しない

録画容量 ▼

スケジュールプロファイル ▼

SDカードに保存/保存しない

SDカードに録画データを保存する場合に選択します。

録画容量

録画データの最大ファイルサイズを設定します。

スケジュールプロフィール

録画するプロフィールを選択します。

②-2 スナップショット

スナップショット

有効 無効

保存先 E-mail FTP SDカードに保存 Samba

インターバル 秒[1~50000]

ファイル名

スケジュールプロファイル ▼

有効/無効

スナップショット保存する場合は有効を選択します。

動作

利用する通知方法にチェックを入れます。

- E-mail : メール設定で指定した宛先に、スナップショットが添付されたメールを送信します。
- FTP : FTP サーバーに、スナップショットをアップロードします。
- SDカードに保存 : スナップショットをSDカードに保存します。
- Samba : Sambaにスナップショットを保存します。

インターバル

時間を設定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

スケジュールプロフィール

プロフィールを選択します。

③ IPカメラ自動再起動

IPカメラ自動再起動			
<input checked="" type="checkbox"/> 再起動	毎週 ▼	日曜日 ▼	00:00 ▼
			適用

再起動

自動で再起動させる場合にチェックを入れて、再起動する日時を設定します。

I/O設定

本機では使用しません。

ログリスト

ログリスト	
システムログ	ログ
モーション検知ログ	ログ
I/Oログ	ログ
AIログ	ログ
全てのログ	ログ

① システムログ

「ログ」をクリックすると、システムログを表示します。

② モーション検知ログ

「ログ」をクリックすると、モーション検知ログを表示します。

③ I/O

本機では使用しません。

④ AIログ

「ログ」をクリックすると、AI検知ログを表示します。

⑤ 全てのログ

「ログ」をクリックすると、全てのログを表示します。

SDカード

① 再生

再生の日付をクリックすると、その日付にイベント設定しているすべての保存データが一覧で表示されます。

2024/03/19			Download	削除
時間	ビデオ	イベント種類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:24:26	092426m.avi	Motion Detection	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:24:32	092432i	IVS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Files link daily

●表示数が10件を超えた場合は画面下に数字が表示されます。数字をクリックして切替えてください。

保存データを確認する

保存したファイル名をクリックするとポップアップが表示されます。
「ファイルを開く」をクリックします。

パソコンに保存する

保存したファイル名をクリックするとポップアップが表示されます。
「保存」右の▼をクリックして「名前をつけて保存」を選択し、保存先を指定して「保存」をクリックします。

削除

削除したい保存データの削除欄にチェックを入れて「削除」をクリックし、「OK」をクリックします。

Download

映像をまとめてダウンロードする場合に使用します。(tar形式)

② ビデオ

ビデオの日付をクリックすると、その日付にスケジュール録画設定しているすべての保存データが一覧で表示されます。

2024/03/19			Download	削除
時間	ビデオ	イベント種類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:00:00	090000r	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10:00:00	100000r	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Files link daily

●表示数が10件を超えた場合は画面下に数字が表示されます。数字をクリックして切替えてください。

任意の時間の保存したファイル名をクリックすると、指定時間のすべての保存データが一覧で表示されます。

2024/03/19			Download	削除
時間	ビデオ	イベント種類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:39:30	093930r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:40:03	094003r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:40:36	094036r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:41:09	094109r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:41:42	094142r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:42:15	094215r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:42:48	094248r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:43:21	094321r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:43:54	094354r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09:44:27	094427r.avi	Record	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1 2 3 4

Files link daily

保存データを確認する

保存したファイル名をクリックするとポップアップが表示されます。
「ファイルを開く」をクリックします。

パソコンに保存する

保存したファイル名をクリックするとポップアップが表示されます。
「保存」右の▼をクリックして「名前をつけて保存」を選択し、保存先を指定して「保存」をクリックします。

削除

削除したい保存データの削除欄にチェックを入れて「削除」をクリックし、「OK」をクリックします。

Download

映像をまとめてダウンロードする場合に使用します。(tar形式)

SDカードのメモリが128Gを超える場合、メモリの70%が予約録画に使用され、30%がイベント録画に使用されます。
SDカードのメモリが128G未満の場合、メモリの50%が予約録画に使用され、50%がイベント録画に使用されます。

ご注意

Windows OS標準のプレイヤーでは、再生できないことがあります。
再生できない場合は、WebサイトからVLC media playerをダウンロードして再生してください。

③ SDカード管理

SDカード管理

自動削除 (1/2/3/4・・・日保持)

SDカードをフォーマット

メモ: SDカードをFAT32としてフォーマットする前にインストールしてください(64Gを超えるFAT32形式のみがサポートされています)。

適用

自動削除

録画ファイルを保存する日数を設定します。

「1日」を選択すると、録画ファイルは1日間保存されます。現在5時の場合に「1日」を選択すると、ファイルは昨日の5時から今日の5時まで保管されます。

microSDカードがいっぱいになると、最も古いファイルが削除されます。

オフを選択すると、自動削除しません。

SDカードをフォーマット

SDカードをFAT32形式にフォーマットします。(最大256GB)

microSDHC/microSDXCメモ리카ード(クラス10以上)

スマートフォンにアプリをダウンロードして、本機(カメラ)を使用できるようにします。

ご注意

IPmotionは汎用アプリのため、仕様が予告なく変更されることがあります。

iPhoneの場合(2025年6月現在) ●操作方法は端末により異なることがあります。

1. アプリをインストールする

①ホーム画面にある、「App Store」をタップします。
●App Storeが表示されます。



タップ

②「検索」をタップし、検索バーに「ipmotion」と入力し、アプリを検索します。



検索

タップ



③「入手」をタップした後、スマートフォンの指示に従って、アプリをインストールします。



IPmotion
ユーティリティ

入手

タップ

④インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。



IPmotion

2. 利用するための設定をする

⑤ホーム画面の「IPmotion」をタップします。



IPmotion

タップ

⑥「カメラ」をタップします。



タップ

⑦「カメラ追加」をタップします。



タップ

⑧「P2P」をタップします。

⑨「QRアイコン」をタップして、カメラの「設定画面」から「EasyLink」(p.22)の「QR code」を読取ります。
●UUIDにカメラのIDが登録されます。

⑩「カメラ名」にカメラの名前を設定します。

⑪「保存」をタップします。



⑨ タップ

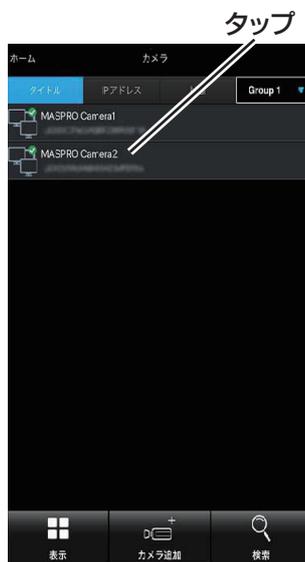
⑩ 名前を設定

⑪ タップ

⑧ タップ

⑫ネットワーク接続の状態が、接続済になるのを待ちます。

⑬接続済になったら、カメラ名をタップします。



タップ

⑭映像が表示されます。



Androidの場合(2025年6月現在) ●操作方法は端末により異なることがあります。

1. アプリをインストールする

- ① ホーム画面にある、「Playストア」をタップします。
●Google Playストアが表示されます。
- ② 「検索」をタップし、検索バーに「ipmotion」と入力し、アプリを検索します。
- ③ 「IPmotion」をタップし、「インストール」をタップします。
●アプリのインストールを開始します。
- ④ インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。



タップ



タップ

タップ



タップ



IPmotion

2. 利用するための設定をする

- ⑤ ホーム画面の「IPmotion」をタップします。
- ⑥ 「カメラ」をタップします。
- ⑦ 「カメラ追加」をタップします。



タップ

IPmotion



タップ

NVR

カメラ

アルバム

設定



タップ

- ⑧ 「P2P」をタップします。
- ⑨ 「QRアイコン」をタップして、カメラの「設定画面」から「EasyLink」(p.22)の「QR code」を読み取ります。
●EasyLink IDにカメラのIDが登録されます。
- ⑩ 「カメラ名」にカメラの名前を設定します。
- ⑪ 「保存」をタップします。
- ⑫ ネットワーク接続の状態が、接続済になるのを待ちます。
- ⑬ 接続済になったら、カメラ名をタップします。
- ⑭ 映像が表示されます。



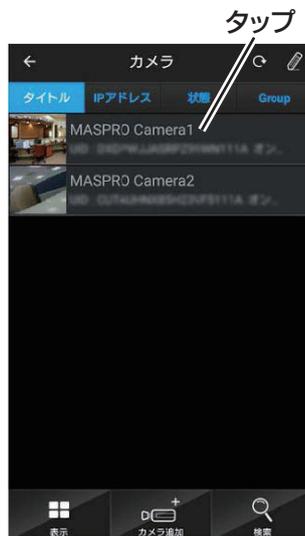
⑧ タップ

⑨ タップ

⑩ 名前を設定

⑪ タップ

保存



タップ

カメラ

タイトル

IPアドレス

状態

Group

MASPRO Camera1

MASPRO Camera2

表示

カメラ追加

検索



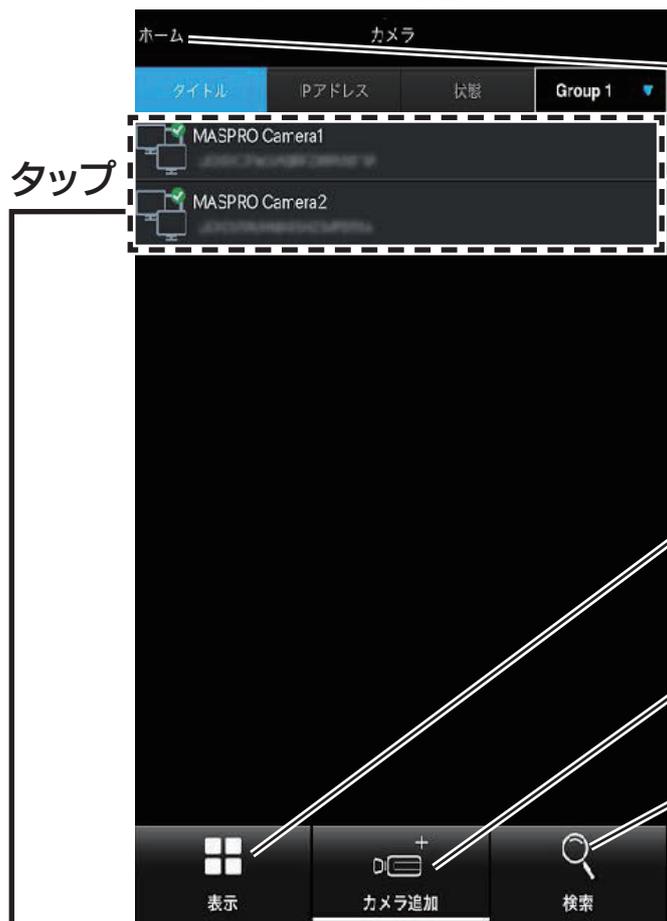
切り換

解像度

AI

SDカード

《カメラ一覧画面》



メニュー画面に戻る

カメラ一覧

登録されているカメラを、一覧で表示します。
任意のカメラを指で押したまま左にスライドすると、「カメラの編集」、「カメラの削除」が行えます。

マルチ画面を表示する

複数台カメラを登録時に、同時にカメラ映像を表示します。

カメラを追加する

カメラを検索する

ネットワーク内のカメラを検索します。

《カメラ映像画面》



操作画面を非表示にする

「切替」、「解像度」、「SDカード」を非表示にします。

カメラ登録情報を編集する

映像表示部

本機(カメラ)で撮影した映像を表示します。

本機では使用しません

現在の画像を保存する

現在の映像を静止画としてスマートフォンに保存します。

映像を録画する

カメラに取付けられたSDカードに短いビデオを録画します。

ズーム・フォーカスを調整する

ご注意 AIの検知エリアが設定されている場合は、再設定が必要です。

カメラを切替える

複数台カメラを登録時に、映像を表示するカメラの選択・切替えをします。

保存された映像・画像を確認する

設定したAIエリアを表示する

マルチ画面は、AIエリアを表示しません。

解像度を切替える

《カメラ一覧画面》



メニュー画面に戻る

カメラの編集・削除をする

カメラ一覧

登録されているカメラを、一覧で表示します。任意のカメラを指で押したまま左にスライドすると、「カメラの編集」、「カメラの削除」が行えます。

マルチ画面を表示する

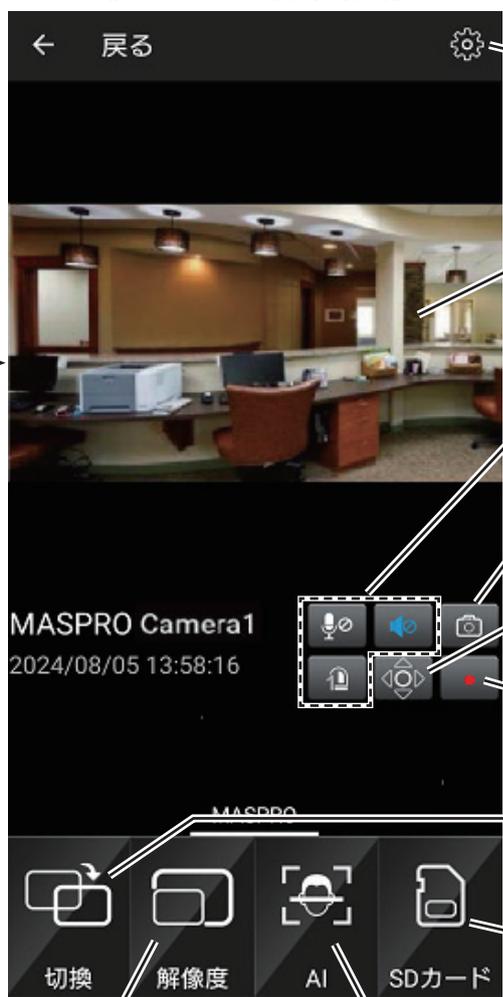
複数台カメラを登録時に、同時にカメラ映像を表示します。

カメラを追加する

カメラを検索する

ネットワーク内のカメラを検索します。

《カメラ映像画面》



カメラ登録情報を編集する

「カメラ登録情報の編集」、および「複数台カメラ登録時の自動切替」の設定をします。

映像表示部

本機(カメラ)で撮影した映像を表示します。

本機では使用しません

現在の画像を保存する

現在の映像を静止画としてスマートフォンに保存します。

ズーム・フォーカスを調整する

ご注意 AIの検知エリアが設定されている場合は、再設定が必要です。

映像を録画する

カメラに取付けられたSDカードに短いビデオを録画します。

カメラを切替える

複数台カメラを登録時に、映像を表示するカメラの選択・切替えをします。

保存された映像・画像を確認する

設定したAIエリアを表示する

マルチ画面は、AIエリアを表示しません。

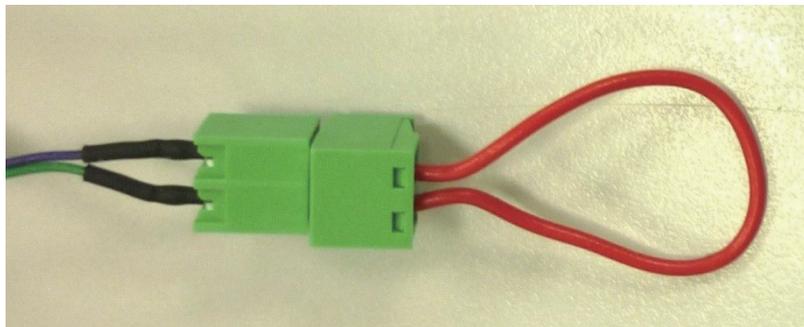
解像度を切替える

パスワードなどがわからなくなったときなど、最初から設定をやり直す場合、設定をお買上げ時(工場出荷時)の状態に戻すことができます。

ご注意

- 工場出荷時の状態に戻すと、それまでに設定した内容はすべて消去されます。
- 設定操作後、60秒間は電源を切らないでください。故障の原因となります。

- ①LANケーブルを抜き、本機の電源を切ります。
- ②初期化端子をリード線で接続します。



- ③LANケーブルを接続して、本機の電源を入れます。
- ④60秒間そのままにします。
 - 本機が起動して、初期化が完了します。
- ⑤再度、LANケーブルを抜き、本機の電源を切ります。
- ⑥初期化端子に接続した、リード線を取外します。

項目	規格	
	TS5-B5Z6AP	TS5-B2Z6AP
イメージセンサー	1/2.7インチ CMOS センサー	1/2.8インチ CMOS センサー
画素数	約500万画素(2592×1944)	約200万画素(1920×1080)
解像度	2592×1944@30fps、2592×1520@30fps 2048×1536@30fps、1920×1080@30fps 1600×1200@30fps、1280×960@30fps 1280×720@30fps、640×480@30fps 640×320@30fps	1920×1080@30fps、1280×960@30fps 1280×720@30fps、640×480@30fps 640×320@30fps
最大フレームレート	30fps	
最大ストリーム	4ストリーム(同時配信)	
撮影画角	水平:約9~44° 垂直:約6~33°	水平:約9~49° 垂直:約5~27°
レンズの種類	6.5-42.5mm 6.54X Motorized Lens @ F2.0	
撮影照度	カラー:0.008Lux(AGC ON) 白黒:0.003Lux(AGC ON)	カラー:0.003Lux(AGC ON) 白黒:0.001Lux(AGC ON)
シャッタースピード	1/5~1/66000秒	1/5~1/33000秒
ノイズリダクション	2DNR/3DNR	
プライバシーマスク	5箇所	
赤外線照射距離	最大70m*	
映像設定	WDR、AE補正、バックライト補正、ホワイトバランス、霧補正	
SN比	60dB	65dB
防じん防水性能	IP66(適切な設置や防水処理が必要です)	
電源	POE(IEEE802.3af)	
消費電力	PoE 最大:7.5W	
使用温度範囲	-30℃~+60℃(赤外線OFF時)	
ケーブル長	約0.5m(映像・電源)	
外観寸法	88(H)×77(W)×292(D)mm	
質量(重量)	約880g	

*暗所で良好に撮影が可能な範囲は約半分程度になります。

マスコエ電工

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談  **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- 最新情報は、当社ホームページをご覧ください。